

平成28年度 病院年報

平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日



昭和31年佐藤外科開院当時(60周年)



病院北側:あじさいロード



平成28年度秋祭り



医療法人 明芳会

佐藤病院



目 次

- 1) 医療法人明芳会 理事長・院長あいさつ
病院理念・基本方針・運営目標
- 2) 病院概要および機能
- 3) 組織図、病院沿革
- 4) 平成28年度 年間行事一覧
- 5) 平成28年度運営状況
- ① 診療実績
外来・入院患者統計
退院患者疾病統計表、医師別退院実績
地域連携入退院動向
紹介患者・診療情報提供動向
アクセント・ヒヤリハット報告集計
褥瘡リスク者、褥瘡有病率
- ② 各部署活動報告
看護部(外来・2階病棟・3階病棟・通所リハビリテーション)
診療技術部(放射線・リハビリテーション・訪問リハビリ・検査健診)
事務管理(医事・総務)
居宅介護支援事業所・地域連携室
- ③ 委員会報告
安全(医療機器、個人情報保護、診療録管理、褥創対策)
サービス(業務改善、福祉、労働者安全衛生)
広報(地域連携・健康教室、広報、IT)
教育

□あいさつ

医療法人 明芳会 理事長

佐藤病院 院長 小松原 正吉

佐藤病院は、佐藤亀弘がこの地に開設して以来、60年が経過しました。地域の皆様方のご支持をいただき発展して参ることができました。この間、医療情勢は何度も変遷を繰り返しました。2025年は、団塊世代がすべて後期高齢者になる年ですが、この時に国民に適切な医療が提供できるために、厚労省はそれぞれの病院に対し、どんな医療機能を持つのかの表明を求めました。それを基に県では地域医療構想を策定します。厚労省の考える医療機能は高度急性期、急性期、回復期、慢性期医療です。佐藤病院は回復期、慢性期医療を担うものとして表明しました。



回復期では一般病床、地域包括ケア病床を、慢性期医療では医療療養病床を設置します。病状に応じた医療を提供しながら、在宅復帰を目指します。

理 念

- ・ 温かみのあるよりよい医療と福祉を提供します。
- ・ 職員は互いの向上をはかります。

基 本 方 針

1. 安全で質の高い医療と福祉を提供します
2. 快適な療養環境と職場環境をつくります
3. 人間尊重の経営で効率性と透明性を高めます
4. 地域と連携して医療の継続性、疾病予防と健康増進に努めます

患者さまの権利

- 当院では、個人の尊厳を守り、次に掲げる『患者様の権利』を尊重します
1. 良質で安全な医療を公平に受けることができます
 2. 十分な説明と情報提供を受けることができます
 3. 自らの意思で治療法を選択することができます
 4. 診療内容について疑問や意見を申し立てたり、他の医療者（自院・他院）の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます
 5. 個人情報やプライバシーは常に保護・尊重されます
 6. 自分の診療情報の開示を求めることができます

平成 28 年度運営目標

1. 地域医療構想、地域包括ケアシステムへの対応および充実
2. H28 年度診療報酬改定への対応と経営の安定
3. 人材確保と人材育成

病院概要と機能

標榜科目 外科 内科 整形外科 循環器科 泌尿器科
胃腸科 リハビリテーション科 心療内科
許可病床数 93床

病棟

○2階一般病棟 51床

一般病床 25床

在宅・施設にて肺炎等を発症した患者や急性期病院からの転医の患者は、一般病床にて受け入れ、治療もしくは全身状態の把握を行う。その上で在宅復帰または施設入所に向け、どの病床での療養継続とするのか判断する。

地域包括ケア病床 26床

怪我や病気の発症直後の急性期治療が経過した後、在宅復帰に向けて治療を継続し、活動性の向上を目指したリハビリテーションを積極的に行う。(60日限度)

○3階療養病棟 42床

医療療養病床 31床

介護療養病床 11床 → 平成29年3月末で廃止

医療依存度または介護度が高く長期療養が必要な慢性期の患者にリハビリテーションのできる体制を整え、療養の継続を行う。

平成28年度は介護療養を医療療養への移行を行い、平成29年3月末には介護療養病床を廃止した。42床すべてを医療療養として平成29年度は運営する。

○リハビリテーション施設基準

脳血管疾患等リハビリテーションⅠ 運動器疾患リハビリテーションⅠ

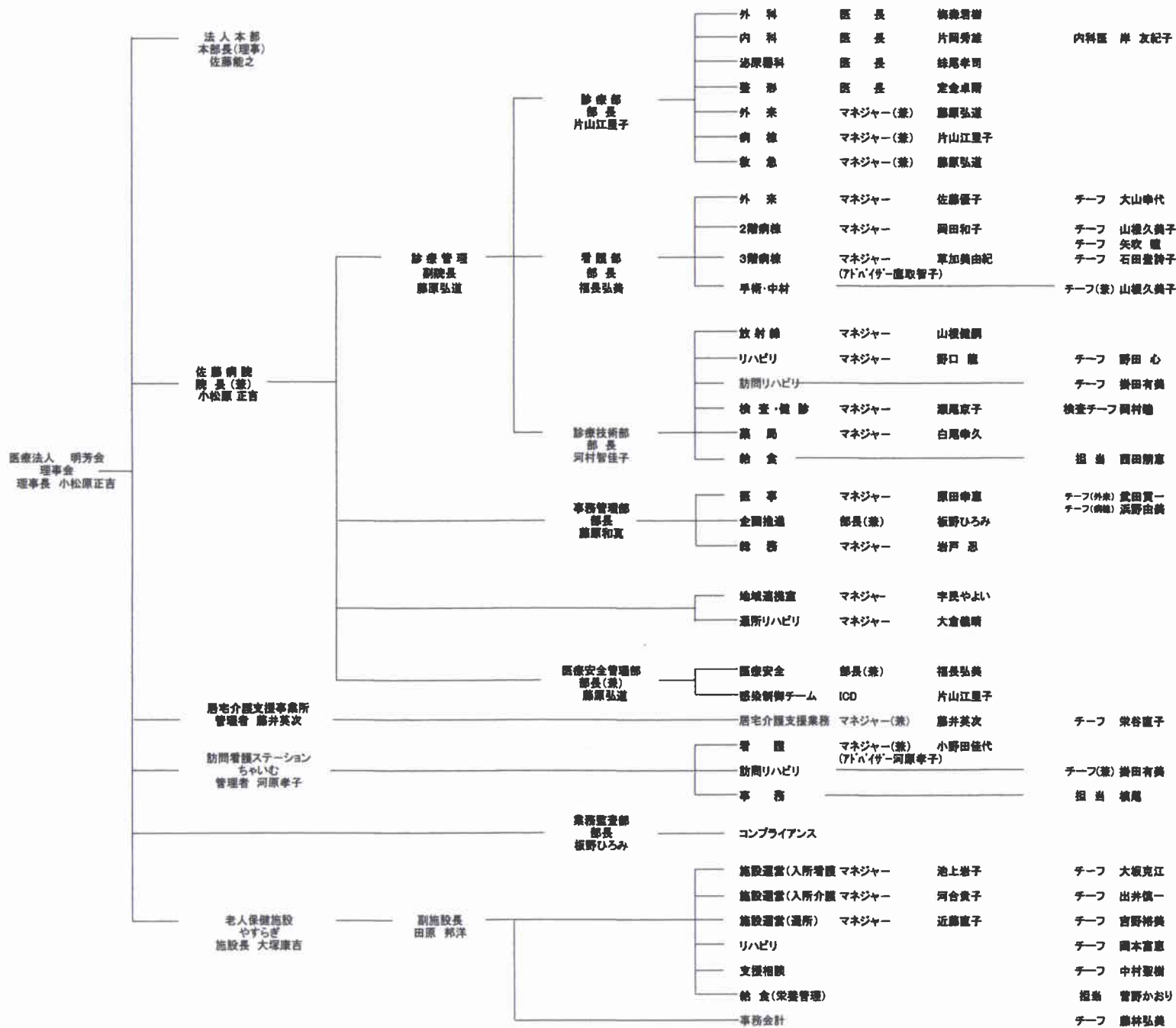
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を常勤で配置し365日リハビリを行なっている。

○各病床の入院患者に対し、在宅復帰を支援する病院として在宅サービスの充実を行う。

- ・退院支援部門（地域連携室：看護師1名、社会福祉士2名配置）
- ・訪問診療 ・訪問リハビリテーション ・通所リハビリテーション
- ・居宅介護支援事業所 ・併設老人保健施設 短期入所療養介護（ショートステイ）
- ・訪問看護ステーション（同一法人）

平成28年度 明芳会 組織図

平成28年4月1日



H28年度佐藤病院委員会組織図

担当 医師 部長 【安全】 藤原 福長	医療安全管理委員会 (月1回)	委員長 藤原 弘道	副委員長 福長 弘美	経営管理部門 各部長	各部署マネジャー															/	/	/	/	/	
		リーダー 佐藤 優子	サブリーダー 鷹取 智子																						
		インシ・アクシ (月1回)	河村 智佳子	藤原 弘道																					
		医療機器 (年6回) 偶数月	白尾 幸久	藤原 弘道																					
		医薬品 (年6回) 奇数月	野口 龍	宇民 やよい																					
		個人情報保護 (年6回) 偶数月	原田 幸恵	藤原 弘道																					
※身体拘束廃止委員会 (月1回)		藤原裕美子	平野 美保	<small>※看護部委員会 (リハビリ・通リハ・やすらぎ含む)</small>	正本	平野 藤原	/	/	/	/	/	星島						則武	/	岸田					

全体統括管理委員会

委員長
小松原 正吉
副委員長
藤原 弘道
佐藤 能之
福長 弘美
藤原 和真
河村 智佳子
板野 ひろみ

	委員長	副委員長	経営管理部門	2階病棟	3階病棟	外来	薬局	検査・健診	放射線	リハビリ	訪問リハ	給食	医事	総務	居宅介護	通リハ	地域連携	やすらぎ	ちやいむ	うららか	かえで	福吉	新保	けやき
院内感染対策委員会 (月1回)	小松原 正吉	石原 勝	片山江里子・各部長	各部署マネジャー																				
褥瘡対策・NST委員会 (月1回)	藤原 弘道	安部 礼子	各部長	安部	草地	朝比奈	白尾	岡崎	/	野田	/	西田	/	/	/	/	/	八木	松村	/	/	/	/	/
臨床検査適正化委員会 輸血療法委員会 (年6回)	梅森 君樹	岡村 睦 篠山 佳世	各部長	小林	岡田	木下	櫻本	岡村 篠山	/	/	/	/	濱野	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
薬事委員会 (随時)	白尾 幸久	藤原 弘道	各部長	岡田	草加	佐藤	白尾	/	/	/	/	/	原田	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
倫理委員会 (随時)	小松原 正吉	福長 弘美	各部長	岡田	草加	佐藤	白尾	岡村	山根	乙部	掛田	西田	原田	岩戸	藤井	大倉	宇民	田原	小野田	/	/	/	/	/
医療ガス安全管理委員会 (年1回)	藤原 和真	定金 卓爾	各部長	石原	草加	朝比奈	白尾	篠山	/	西村	/	/	/	藤原	/	大倉	/	/	/	/	/	/	/	/

【サービス】
妹尾
藤原

業務改善委員会 (月1回)	岡崎 優美子	大倉 義晴	各部長	依田	中山	日高	/	岡崎	栗原	小西	/	/	佐々木	賀来	安田	大倉	/	藤林	/	/	/	/	/	/
給食委員会 (月1回)	菅野かおり	西田 朋恵	妹尾孝司・各部長	野間	坂本	/	/	/	/	上溝	/	西田	/	/	/	川井	/	難波 太田	/	/	/	/	/	/
福祉委員会 (月1回)	藤井 英次	瀬尾京子	各部長	藤井	桐山	/	/	瀬尾 (塚堂)	栗原	高橋	杉本	/	高橋	岡本	藤井	/	星島	/	小野	中野	安谷屋	栢原	中西	
労働者安全衛生委員会 (年6回)	岩戸 忍	藤原 美由紀	各部長	岡田	坂本	妹尾	/	塚常	/	藤原	/	/	安藤	岩戸	久保	塩見	/	石橋	小松原	/	/	/	/	

【広報】
片岡
河村

地域連携・健康教室委員会 (月1回)	森原 郁雄	中村 聖樹	各部長	岩本	藤原	室田 合田	/	山崎	/	児嶋	/	西田	時岡	/	森原	/	田中	中村	溝口	高林	濱田	難波	/	小松 原 藤原
広報委員会 (月1回)	名越 大悟	池田 美穂	各部長	宮田	/	小山	/	名越	/	池田	掛田	/	大橋	坪田	尾崎	/	田中	岡本	/	/	/	/	/	/
IT委員会 (月1回)	佐々木 奈緒	山田 洋和	各部長	須藤	/	/	/	/	/	小原	/	/	佐々木	芝田	栄谷	/	山田	本山	/	/	/	/	/	/

【教育】
梅森
板野

全体教育委員会 (月1回) 新人研修(年1回)	武田 貢一	山根 健嗣	各部長	井上	藤川	/	/	西田	山根	石原	/	/	武田	板野	綱島	/	/	小畑	渡辺 真	柿本	花重	原口	南條
-------------------------------	-------	-------	-----	----	----	---	---	----	----	----	---	---	----	----	----	---	---	----	---------	----	----	----	----

医療法人 明芳会 佐藤病院の沿革とあゆみ

昭和	31年	7月	佐藤外科医院開設許可 病床数 19床
	45年	12月	佐藤病院開設許可 病床数 31床・建物延床面積 750㎡・従業員数・23名
	46年	5月	佐藤病院副院長に井上一郎就任
	47年	7月	佐藤病院第Ⅰ期工事完成 許可病床数 38床・建物床面積 1,605㎡
		9月	基準給食基準寝具の承認
		10月	救急病院の指定
	48年	12月	医療法人の設立許可 医療法人 佐藤病院に名称変更 佐藤病院副院長に林逸平就任
		9月	許可病床数増床 46床
	51年	2月	創立20周年記念式 副院長に林逸平就任
	53年	5月	基準看護一類一般の承認
	54年	9月	第Ⅱ期工事完成 許可病床数 60床・建物床面積 3,656㎡
		6月	短期人間ドック、成人病健診開始
	55年	5月	病院の日 無料検診開始
		10月	簡易保険団体「人間ドックの会」と協定を結ぶ
	56年	4月	理学診療科としてスタッフ2名でスタート
		5月	医事レセプト用コンピューター導入
		7月	重症者看護及び収容施設の承認
		8月	運動療法施設の承認
	57年	5月	病理解剖室の設置
	58年	1月	許可病床数増床 93床
		4月	訪問看護を開始
		8月	岡山県胃精密検診施設の委託 リハビリ棟の増築完成
		10月	基準看護特一類一般の承認
	59年	10月	海外技術研修員の受け入れ
	60年	4月	全身用CT装置導入 看護計画にPOS方式導入 ドライケミストリーの生化学自動分析機導入
		11月	看護部が総婦長制になる
	61年	8月	日本医師会 岡山県医師会精度管理調査参加
		11月	基準看護特二類承認
	62年	2月	岡南地区老人クラブ連合会に定期的な健康教室、体力測定を開始
		8月	入院オーダリングシステム稼動(注射・検査・レントゲン)
		11月	基準看護特二類一般の承認
平成	元年	4月	給食を日清医療食品へ業務委託
	2年	2月	院内新聞「青い山脈」創刊
		6月	医療法人明芳会に名称変更 老人保健施設やすらぎ開設 入所 50名 老人デイケア 20名
	3年	6月	佐藤病院院長に林逸平就任、副院長に定金卓爾就任。
		7月	創立35周年記念式 プラザホテル
	4年	1月	岡山市委託の在宅介護支援センター開設
		3月	消防法改定によるスプリンクラー工事
		6月	新町職員寮完成
	5年	6月	内視鏡ビデオシステムへ機種変更
		10月	職員旅行 沖縄・香港
	6年	1月	患者を〇〇様と呼ぶ
		5月	看護業務改善モデル事業受託 補助金 500万円
		10月	新看護3:1(A)6:1に変更
		12月	入院オーダリングシステムを変更(入院・食事・注射・検査・レントゲン) 院内LANシステム稼動

7年	1月	政府管掌健康保険生活習慣病予防検診承認
	2月	全身用骨密度測定装置(DXA)導入
	7月	広報誌 そよかぜ 第1号 発刊
	10月	デイケア棟完成 病院デイケア開始 保育室を病棟4Fよりデイケア棟2Fに移転 岡山女子高等学校衛生看護科の実習病院に指定 職員旅行 台湾・グアム
8年	2月	4階に健診施設を設置、検診用X線テレビ導入
	4月	MRSA対策委員会発足 MRSA感染情報提供開始
	5月	自動細菌同定感受性装置 DBオートスキャン-4導入
	9月	訪問看護ステーションちやいむ開設
10年	11月	全身用CT装置をヘリカルCTに更新
	4月	週40時間労働制の導入
	6月	岡山労災病院でO-157発生、給食の支援をする
	9月	職員旅行 バリ島・北海道
	2月	外来オーダーリング 開始
	5月	職員旅行 須磨・明石
11年	9月	第1回ケアマネージャー試験 9人合格
	12月	社会福祉法人 一耀会 設立認可
	4月	ベル総合福祉専門学校、岡山労災看護専門学校の在宅看護論実習病院に指定 YMCA・川崎リハ学院 作業療法の実習病院に指定 循環器外来スタート
	7月	ケアマネージャー試験 11名合格
12年	8月	一般病棟 51床 新看護 2:1(A)夜勤加算〔I〕b 療養病棟 42床 療養Ⅱ群入管〔I〕夜勤加算〔Ⅱ〕a 療養環境〔Ⅱ〕
	10月	佐藤病院居宅介護支援事業所開設 職員旅行 オーストラリア・セブ島
	12月	コンピューター及び医療機器(Y2K問題)で問題なく経過
	2月	薬剤SPD開始
	4月	ドライケミストリー方式生化学分析機ヒトロス250導入 老人福祉施設うららか開所 在宅介護支援センターが一耀会に移動 一般病棟Ⅰ群入院基本料1 療養病棟 療養Ⅰ群入院医療管理〔I〕 介護療養病床 21床届出〔I型〕 短期入所療養介護施設 ショートステイ導入 検体検査管理加算〔I〕承認
	6月	薬剤管理指導承認
13年	11月	ケアマネージャー試験 6名合格
	12月	超音波画像診断装置アロカSSD-5000導入
	1月	介護保険用コンピューター導入電子請求開始
	4月	全自動血球分析装置 シスメックSF-3000導入 病院機能評価委員会発足
14年	9月	院内コンピューターハードの全面更新 院内LAN更新
	10月	一般病棟Ⅰ群入院基本料2に変更
	2月	佐藤病院グループ ホームページ開始
	3月	外来・病棟の清潔・不潔区分工事の開始
	4月	佐藤病院院長に定金卓爾、副院長に藤原弘道就任 病院機能評価本審査受審 看護婦は看護師、総婦長を看護部長、主任をマネージャー、チーフに名称変更
	6月	賞与の支給率を夏・冬同率に変更 眼科用スリットランプ購入
12月	8月	日本医療機能評価機構より複合病院種別 A:一般・長期療養に認定 眼科用オートレフレクトメーター購入 病院給食搬送にIH加熱カート導入
	12月	心療内科スタート

15年	4月	グループホーム かえで 開所
	8月	病院の病床種別届 一般病床51床 療養病床42床
	9月	デジタルラジオグラフィ（DR）X線テレビ装置導入 X線ドライイメージャー更新
10月	職員旅行（ケアンズ・湯布院）今回にて当面中止	
16年	2月	全自動血液ガス分析装置（ラジオメーターABL-77）導入
	4月	院外処方箋全面開始
	5月	全館暖房温水用ボイラーを交換
	6月	言語聴覚療法〔Ⅱ〕承認 人工呼吸器 Tハート購入
7月	高齢者福祉住宅あいらの杜福吉開所に伴いヘルパーステーション福吉を開設 診療録管理体制加算	
8月	台風により病院デイケア棟1階床上浸水の被害	
10月	外来空調機交換	
17年	2月	無散瞳眼底カメラ購入 自動小型分包機購入
	3月	西館（リハビリ・病床）増築工事地鎮祭
	4月	人事・経理・購買が法人本部総務部として発足 佐藤病院居宅介護支援事業所をサンヨー薬局2階へ移動
	5月	心電計（カーディオスター）購入
6月	一般撮影デジタル化・CRを導入	
10月	有料老人ホームあいらの杜ふくよし 特定施設に変更	
11月	内視鏡ビデオシステムを購入	
12月	総合リハビリ室・西病棟増築完成 建物床面積 4,056㎡	
18年	1月	作業療法（Ⅱ）承認 機械浴オンラインバス・ストレッチャー購入
	3月	中材滅菌業務外注委託開始 第Ⅲ期工事総合リハビリ・西病棟増築工事全面完成
	4月	環境問題からボイラーを天然ガス用に交換 院長に小松原正吉就任 定名名誉院長となる 脳血管疾患等リハビリ〔Ⅱ〕運動器疾患リハビリ〔Ⅰ〕届出 介護保険の変更に伴い佐藤病院通所リハビリが祝日、日曜日の営業中止 高電位治療器購入
	6月	介護保険 言語聴覚療法 届出 特定施設有料老人ホームあいらの杜新保 開設
9月	居宅コンピューターシステム交換	
11月	創立50周年記念式典 プラザホテル 50周年記念事業として岡南公民館・中央卸売市場にAEDを寄贈 集塵機付調剤台・人工呼吸器IMI 購入	
19年	1月	院内LANシステム を更新
	4月	血圧脈波検査装置購入 ホームページリニューアル公開
	6月	ニコチン依存症管理料、脳血管疾患等リハビリ〔Ⅰ〕届出
11月	マルチスライス（4列）CT更新 亜急性期病床10床届出（一般病床41床）	
20年	3月	生化学分析装置購入（更新）（ビトロス5.1FS）
	8月	超音波画像診断装置購入（東芝Xario-XG）
10月	視力検査器具（スクリーンスコプ）（オージオメーター）健診へ購入	
21年	4月	PACS（医療画像情報電子化システム）を導入
	10月	病棟改修工事（1階・4階）
12月	10対1一般病棟入院基本料届出	
22年	4月	検査システム&健診システム導入実施 通所リハビリ改修工事
	6月	検査：血液凝固度測定機器導入
8月	MP対策のため防犯カメラシステム新規設置導入 内視鏡洗浄機整備（外来）OED-1000 健診部に眼圧計整備（CT-90）	
10月	職員旅行（香港等）復活	
23年	3月	午後2時46分関東（宮城県沖）地震発生、M9.0という未曾有の規模（大規模災害対策 検討）
	7月	亜急性期入院医療管理料1 21床に増床（一般病床30床）
24年	1月	骨塩定量装置更新
	4月	院内感染対策防止加算2、輸血管理料Ⅱ届出

	5月	一般病棟看護必要度加算1届出
	9月	後発品使用体制加算1届出
	10月	患者サポート体制充実加算届出
25年	4月	外来診療時間の変更 9:00～18:30を9:00～18:00に変更 標榜科目に泌尿器科追加
	11月	病院修繕工事 (雨漏り対策)
26年	3月	在宅療養支援病院1届出 病院東壁面 消防避難器具設置台 改修工事 オーダーリングサーバー更新・厨房 食器洗浄機更新 医事会計システム(HOPE)更新
	4月	外来へ総合案内係りを置く
	5月	データ提出への準備としてDPCファイル作成出力システム導入
	7月	地域包括ケア入院医療管理料1(26床)届出 一般病床31床→25床へ
	8月	聴力計(オージオメーター)健診へ購入
	10月	データ提出加算届出
	11月	医療法人明芳会 理事長に小松原正吉就任 (院長兼任)
	12月	放射線(透視)機器改修 島津→東芝
27年	6月	厚生年金基金の代行返上についての同意書回収
	10月	療養病棟入院基本料1 21床→25床 介護療養病床1 21床→17床 厨房内照明LED工事
28年	2月	正面玄関火災時自動オープン化工事
	3月	療養病棟入院基本料1 25床→28床 介護療養病床1 17床→14床 全病室カーテンレール2重化を伴うカーテン入替 病院1・4階空調機入替工事(1階:検査室・事務)(4階:健診控室・診察室・検査室・面談室) 3階北館 病室リフォーム工事3/19～3/28
	4月	特別公休3日 試行 年間108.5日 導入 全館トイレトペーパーフォルダ更新工事
	6月	病棟3階 セントラルモニター更新(日本光電8Chタイプ) 非常用コンセント増設工事(1階交換機・検査室 2階ナースコール本体・ 4階健診待合リフォーム工事(天井塗り替え)
	7月	4階健診待合リフォーム工事(天井塗り替え)
	8月	ストレスチェック導入実施 内視鏡更新 オリンパスELITE (経口GIF-H290 経鼻GIF-XP290N 大腸CF-H290I)
	9月	退院支援加算1(地域連携診療計画加算)届出 水銀廃棄に伴う、血圧計購入(外来・健診・放射線・リハビリ)
	10月	療養病棟入院基本料1 28床→31床 介護療養病床1 14床→11床 一般病棟看護必要度加算2届出 全館停電検査(PCB含有コンデンサ入替)
	11月	病院看板灯更新工事 LED省エネ化へ
	12月	厚生年金基金の過去代行返上分と確定給付企業年金実施に関する同意書回収
29年	1月	認知症ケア加算2届出
	2月	PACSサーバー更新 病棟北館 3階エアコン改修 空冷化
	3月	3階北館空調機個別化工事 29.3.31介護療養病床辞退
	4月	療養病棟入院基本料1 42床(全て医療療養へ) 輸血適正使用加算届出 院内保育事業 事業所内地域型認定へ 明芳会(通所リハビリ・老健) 介護職員処遇改善加算(I)届出

平成28年度 年間行事一覧

	日	項目
4月	1日～5日 13日・20日 15日・21日 27日	新人全体教育 やすらぎ運営発表会 病院方針発表会 リースカーテンリニューアル
5月	10日 24日 26日	病院の日・看護の日 H28年度診療報酬改定説明会 やすらぎ介護グランプリ
6月	14日・17日 15日 23日 28日	H28年度診療報酬改定説明会 福島学区交流会(地域町内会長) 非常用混線と増設 秋祭り準備委員会 キックオフ
7月	22日 28日	医療安全研修会、ICT研修会 H28年度医療監視(岡山市保健所)
8月	22日～27日	職員ストレスチェック調査
9月	16日 24日 26日	医療安全研修会 佐藤病院グループ秋祭り やすらぎ介護グランプリ
10月	19日 30日	岡山県知事選挙不在者投票 全館停電検査、PCB処分
11月	4日 12日	屋上塔 看板照明のLED化 佐藤グループ研究発表会
12月	3日	佐藤グループ永年勤続表彰、佐藤病院60周年記念、忘年会
1月	14日 20日・24日 26日	保育(さとちゃん保育園)保護者説明会 教育委員会全体研修会(クレーム対応) 病院機能評価説明会(機構来訪)
2月	14日～17日 20日～25日	腰痛予防体操(職員対象) 3階病棟 空調改修
3月	4日～20日 16日 17日 24日・29日・31日	保育施設改修 福島学区民生委員・児童委員協議会研修会 医療安全研修会・ICT研修会 全体教育研修会(権利・臨床倫理)

診療実績

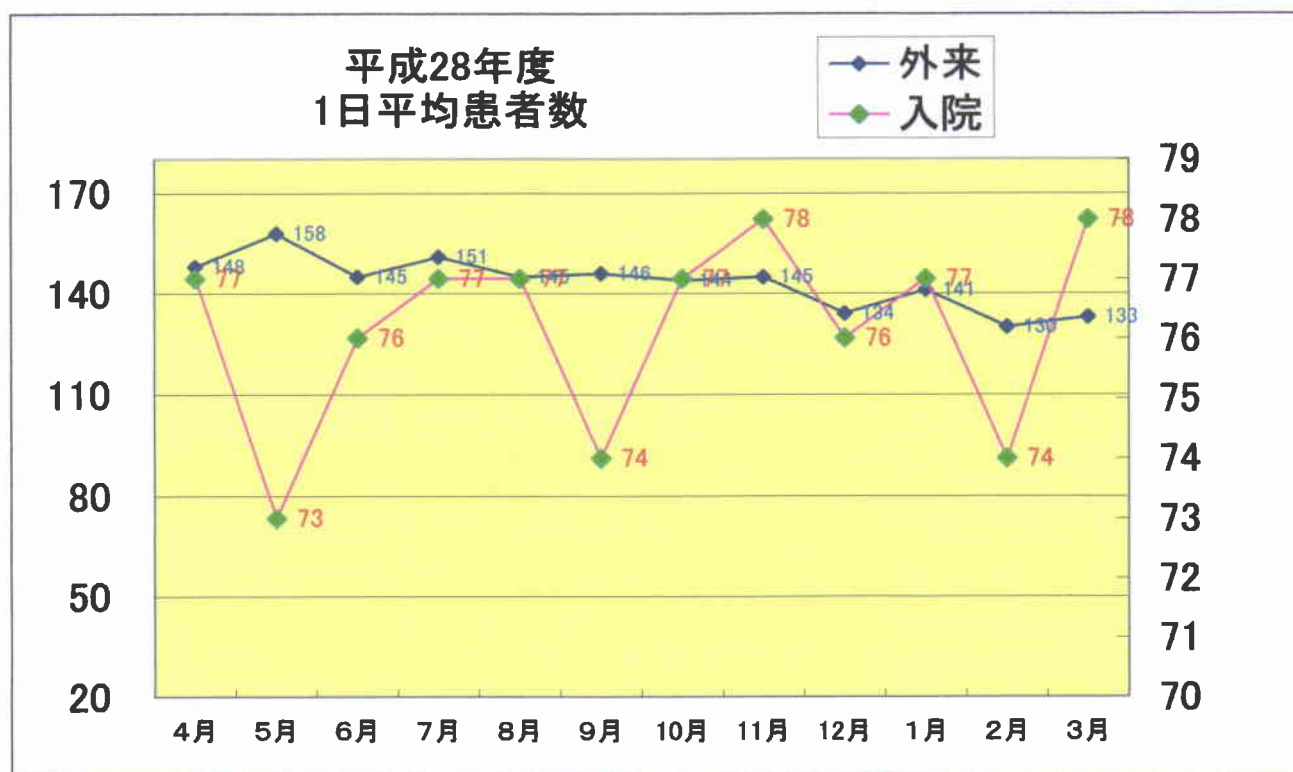
診療患者統計(平成28年度)

□外来

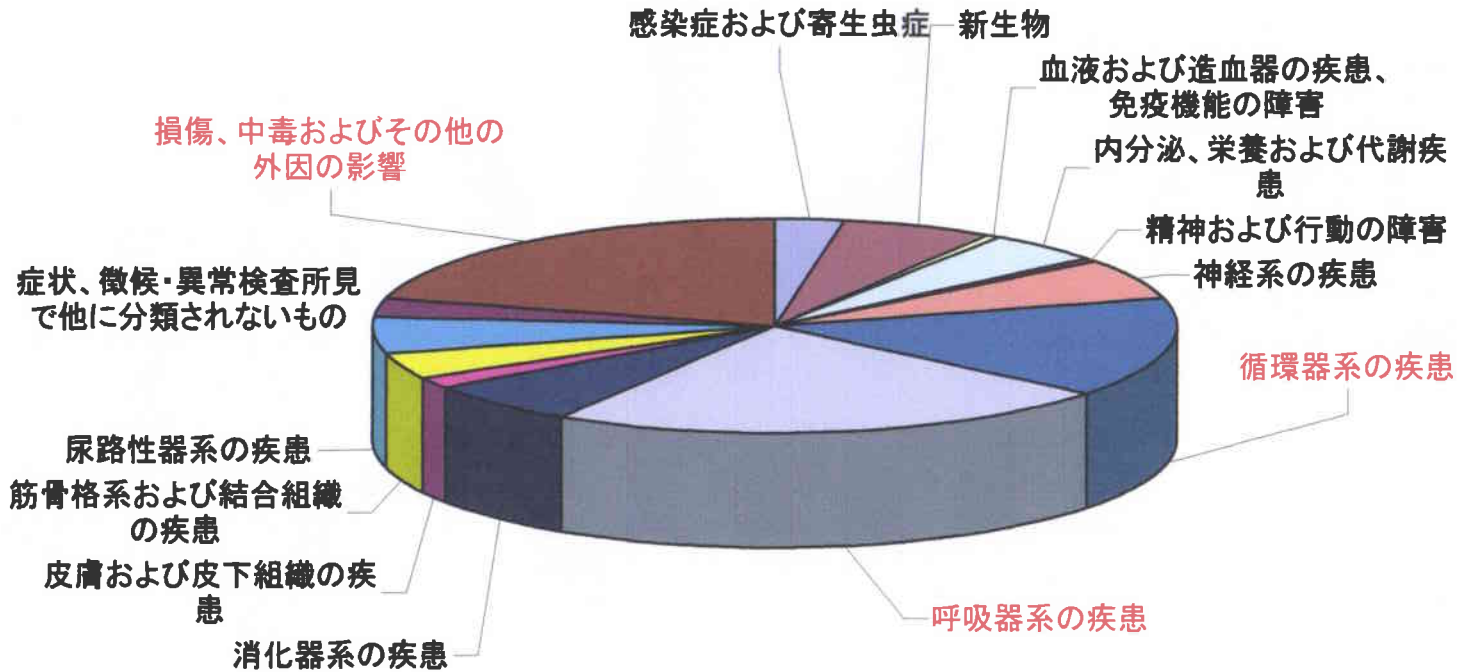
外 来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延患者数	3,706	3,642	3,768	3,767	3,616	3,504	3,605	3,473	3,352	3,253	3,117	3,457
1日平均患者数	148	158	145	151	145	146	144	145	134	141	130	133
新外来患者数	321	344	330	340	301	262	338	317	350	355	338	325
紹介患者数	29	43	42	40	35	34	33	27	31	34	31	40

□入院

入 院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延患者数	2,306	2,265	2,285	2,380	2,373	2,224	2,374	2,335	2,358	2,381	2,070	2,418
1日平均患者数	77	73	76	77	77	74	77	78	76	77	74	78
病床利用率(%)	83%	79%	82%	83%	82%	80%	82%	84%	82%	83%	79%	84%
平均在院日数(日) (一般病床)	15	18	16	25	18	17	18	23	17	20	16	24



H28年度退院患者疾病統計表



- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| ■ 感染症および寄生虫症 | ■ 新生物 |
| □ 血液および造血器の疾患、免疫機能の障害 | □ 内分泌、栄養および代謝疾患 |
| ■ 精神および行動の障害 | ■ 神経系の疾患 |
| ■ 循環器系の疾患 | □ 呼吸器系の疾患 |
| ■ 消化器系の疾患 | ■ 皮膚および皮下組織の疾患 |
| ■ 筋骨格系および結合組織の疾患 | ■ 尿路性器系の疾患 |
| ■ 症状、徴候・異常検査所見で他に分類されないもの | ■ 損傷、中毒及びその他の外因の影響(骨折等) |

平成28年度医師別退院実績

	小松原先生	藤原先生	梅森先生	片山先生	片岡先生	妹尾先生	定金先生	計	割合	
退院患者数(人)	56	111	52	79	36	21	46	401		
男(人)	21	63	34	37	18	9	14	196	48.9%	
女(人)	35	48	18	42	18	12	32	205	51.1%	
平均年齢(歳)	82.0	83.1	80.3	81.0	79.8	85.6	78.2	81.4	※平均	
平均在院日数(日)	93.8	84.0	115.2	51.6	111.3	39.0	50.3	77.9	※平均	
退院先	在宅(人) ※1	22	43	18	37	8	4	42	174	43.4%
	有料老人ホーム(人) ※2	6	6	1	1	1	0	0	15	3.7%
	グループホーム	0	1	1	0	0	1	0	3	0.7%
	老健(人)	7	16	2	12	8	2	4	51	12.7%
	特養(人)	2	8	1	1	0	4	3	19	4.7%
	転院(人)	7	19	14	17	12	0	1	70	17.5%
	死亡退院(人)	11	18	15	10	7	10	0	71	17.7%
在宅復帰率(%)	50.0%	45.0%	38.5%	48.1%	25.0%	23.8%	91.3%	47.9%		

※1 ケアハウス含む

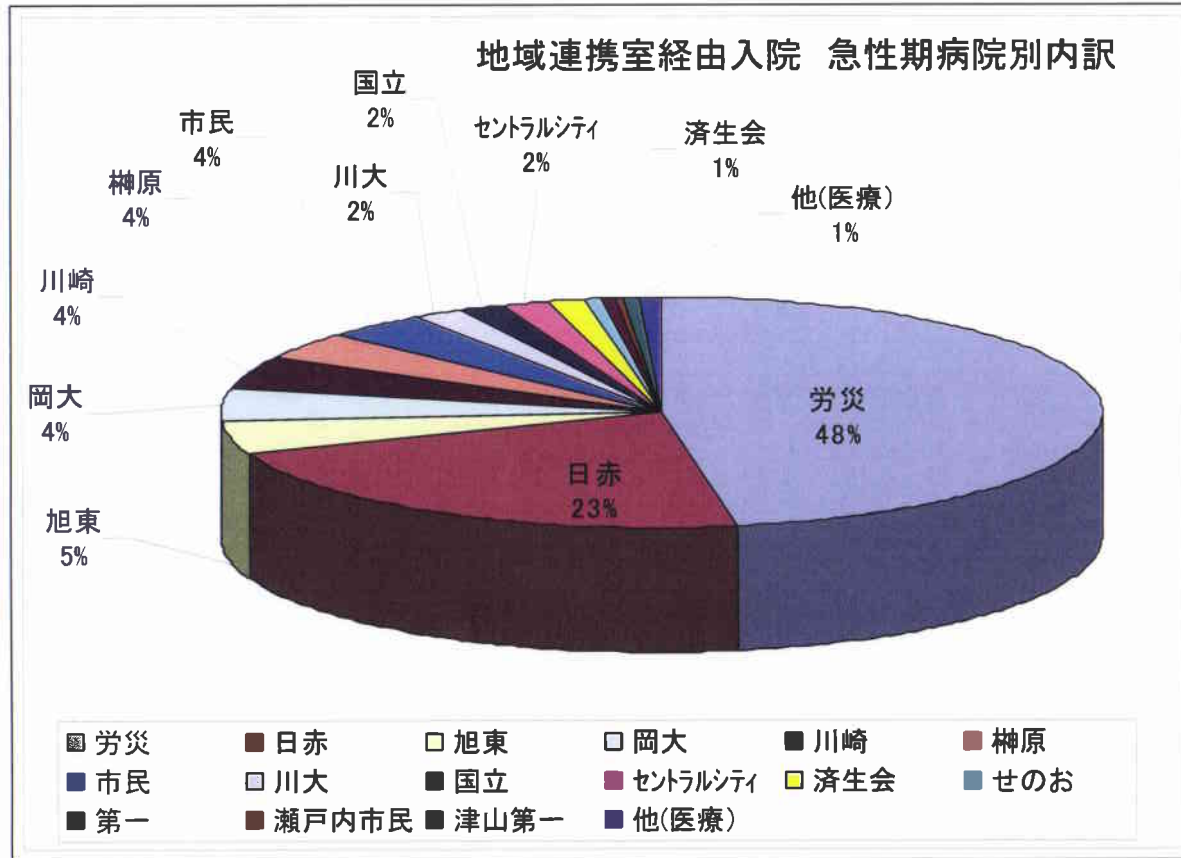
※2 養護ホーム含む

H28年度 入院内訳

* 地域連携室への紹介患者数 422名 (昨年度 430名)

* 地域連携室経由入院 274名 (昨年度 263名)

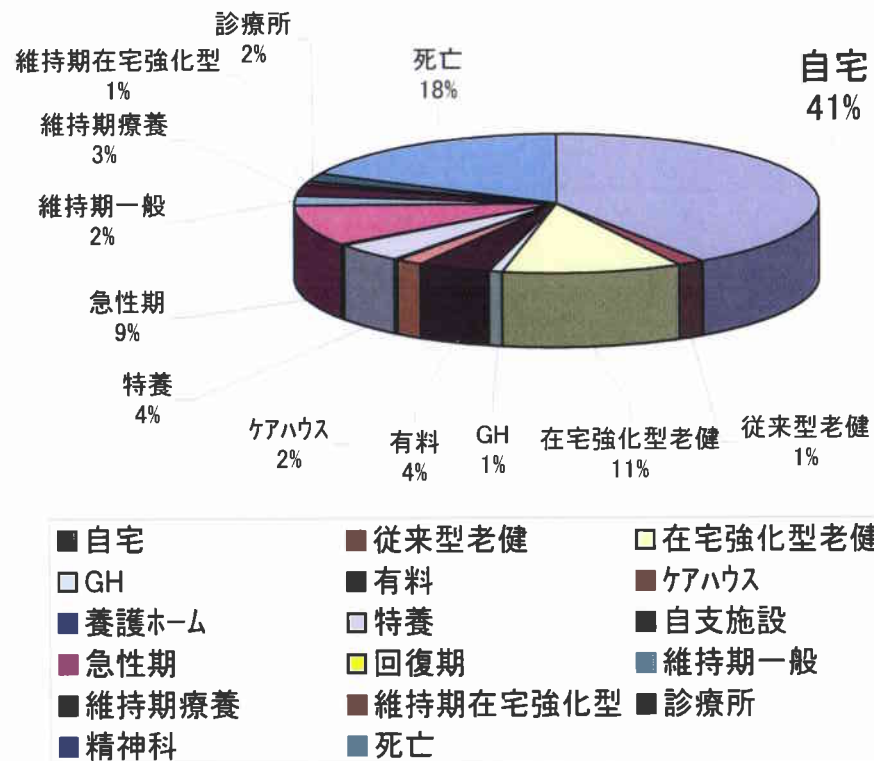
紹介別内訳(地域連携室経由)		人数
医療機関 (急性期)	労災	105
	日赤	49
	旭東	11
	岡大	10
	川崎	10
	榊原	9
	市民	8
	川大	4
	国立	4
	セントラルシティ	4
	済生会	3
	せのお	1
	第一	1
	瀬戸内市民	1
	津山第一	1
他(医療)	2	
医療機関 (回復期)	岡リハ	1
	光南	1
医療機関 (維持期)	博愛会	2
	協立	1
医療機関 (診療所)	河合	7
	かとう	1
	ふじわら	1
医療機関(精神科)	山陽	1
施設	やすらぎ	5
	老健さくら苑	1
	新保	1
	いろりの里	2
	ゆうゆう館	1
在宅(ショートステイ含む)	佐藤居宅	8
	訪看ちやいむ	7
	けやき(小)	1
	うららか(SS)	1
	他(居宅)	3
	在宅	6
合計		274



H28年度 退院先分類

退院先	人数
自宅	163
従来型老健	6
在宅強化型老健	45
GH	3
有料	18
ケアハウス	7
養護ホーム	1
特養	18
自支施設	1
急性期	38
回復期	0
維持期一般	8
維持期療養	11
維持期在宅強化型	3
診療所	8
精神科	0
死亡	71
合計	401

H28年度 退院先分類

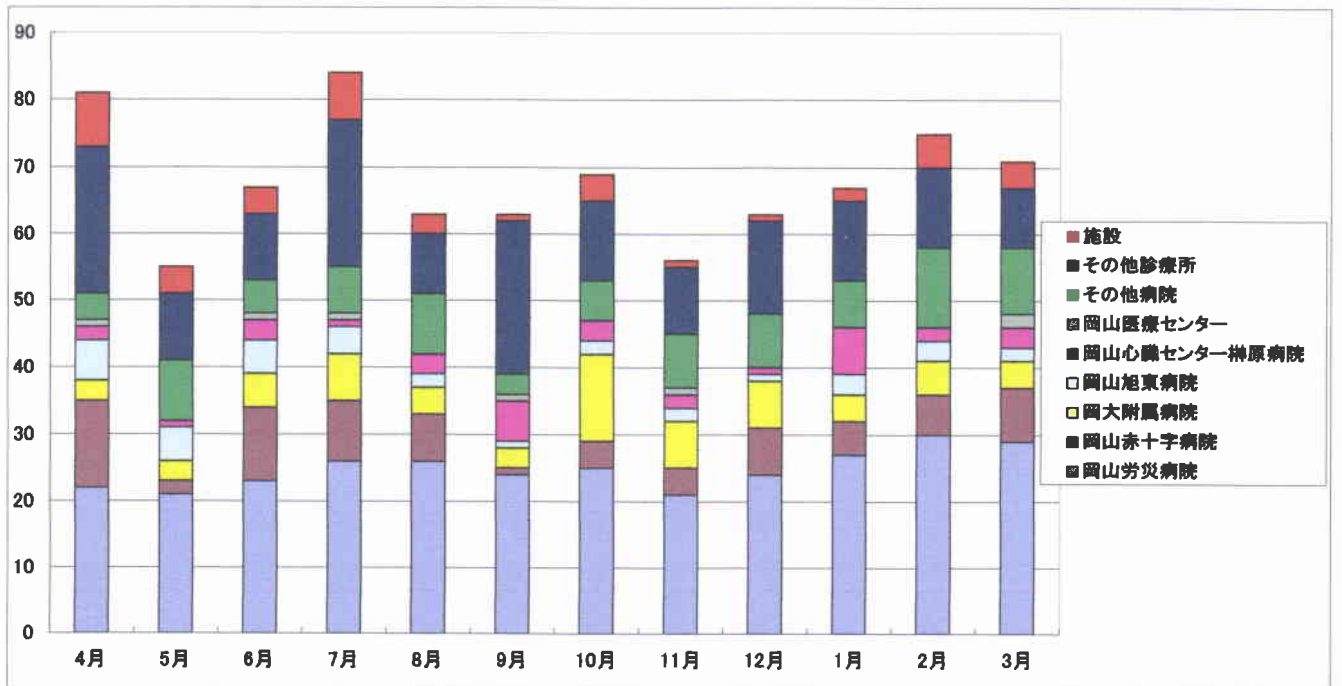
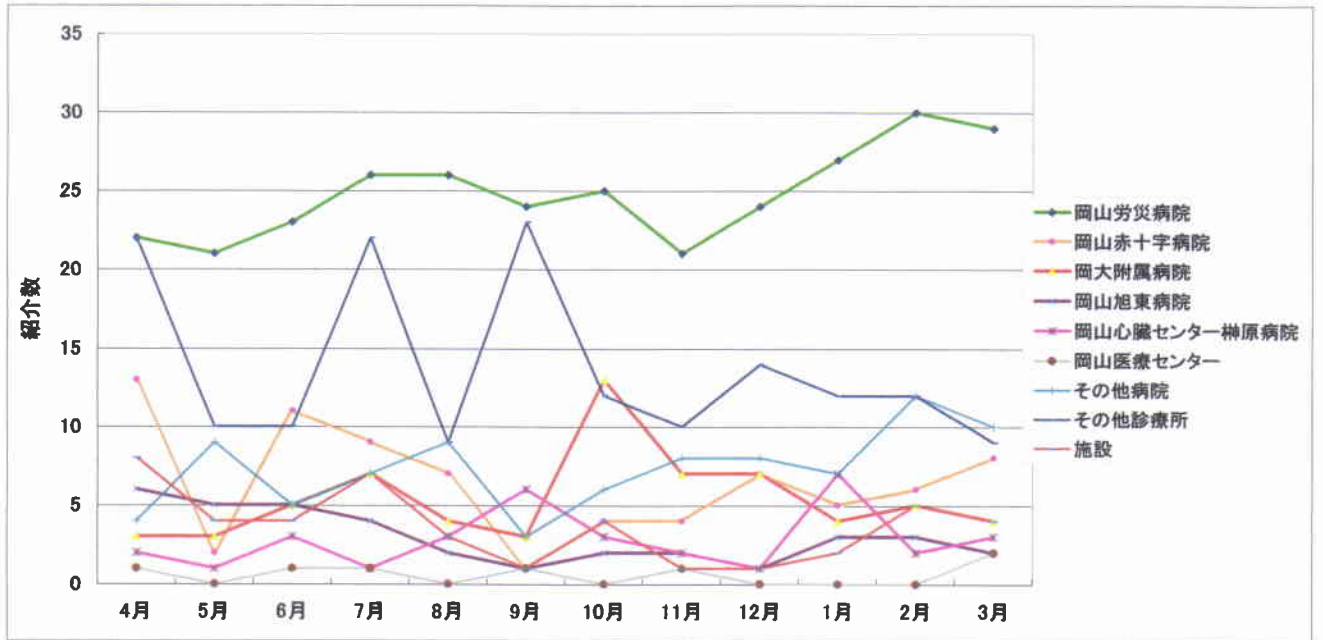


紹介患者動向表(28年度)

平成28年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
紹介目的	入院治療目的	23	25	25	19	21	21	16	16	20	18	22	23	249
	外来通院目的	2	8	9	12	7	4	8	5	3	7	3	12	80
	検査(精査)目的	0	1	0	3	3	1	1	3	1	1	1	0	15
	C T 目的	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	外来リハビリ目的	1	6	4	4	2	5	2	1	0	2	2	1	30
	通所リハビリ目的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設入所目的	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	専門外来目的	0	0	1	1	0	0	1	2	0	0	0	1	6
	情報提供目的	3	3	2	1	1	3	5	0	7	6	3	3	37
	件数合計	29	43	42	40	35	34	33	27	31	34	31	40	419
	救急患者数													
診察結果	入院治療	23	23	25	19	21	21	16	16	21	18	22	22	247
	外来通院	3	8	9	13	8	6	10	6	3	7	4	13	90
	担当者会議へ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外来リハビリ開始	1	6	4	4	2	5	2	1	0	2	2	1	30
	通所リハビリ開始	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やすらぎ目的入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	検査・処置完了	0	1	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	7
	専門医へ紹介	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	紹介元へ返す	2	4	4	3	1	1	4	4	7	6	3	4	43
	件数合計	29	43	42	40	35	34	33	27	31	34	31	40	419

平成28年度 診療情報提供患者数(当院からの紹介患者数)

<H28>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
岡山労災病院	22	21	23	26	26	24	25	21	24	27	30	29	298
岡山赤十字病院	13	2	11	9	7	1	4	4	7	5	6	8	77
岡大附属病院	3	3	5	7	4	3	13	7	7	4	5	4	65
岡山旭東病院	6	5	5	4	2	1	2	2	1	3	3	2	36
岡山心臓センター榊原病院	2	1	3	1	3	6	3	2	1	7	2	3	34
岡山医療センター	1	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	2	7
その他病院	4	9	5	7	9	3	6	8	8	7	12	10	88
その他診療所	22	10	10	22	9	23	12	10	14	12	12	9	165
施設	8	4	4	7	3	1	4	1	1	2	5	4	44
合計	81	55	67	84	63	63	69	56	63	67	75	71	814



項目	医局	病棟 2F	病棟 3F	外来	薬局	検査 健診	X線	リハビ リ	訪問 リハ	給食	医事	総務	通所 リハ	居宅	保育	地域 連携	やす らぎ	ちゃ いむ	合計
1 患者間違い	0	1	2	2		0	2	0		0	0	0	0				8	2	17
2 処方箋	0	0	1	0		0	0	0		0	2	0	0				0	0	3
3 混入間違い	0	1	0	0		0	0	0		0	0	0	0				2	0	3
4 量・重複与薬	0	5	2	0		0	0	0		0	0	0	0				2	0	9
5 与薬漏れ忘れ	0	6	5	0		0	0	0		0	0	0	1				9	0	21
6 与薬に関すること	0	1	19	1	2	1	0	0		0	0	0	2				23	1	50
7 注射に関すること	1	16	9	4		0	0	0		0	0	0	1				0	3	34
8 指示に関すること	0	7	9	1		8	2	1		0	0	0	0				0	1	29
9 検査に関すること	0	5	6	7		17	2	1		0	0	0	0				0	1	39
10 苦情に関すること	0	0	2	0		0	0	2		0	0	0	0				0	0	4
11 転倒等	0	76	5	0		0	0	2		0	0	1	4				83	1	172
12 転落	0	9	3	2		0	1	2		0	0	0	0				23	0	40
13 針刺し・切創・擦過等	1	1	1	1		0	0	0		0	0	0	1				2	1	8
14 食事盛り付け	0	0	0	0		0	0	0		12	0	0	1				0	0	13
15 食事調理	0	0	0	0		0	0	0		10	0	0	0				1	0	11
16 配膳間違い	0	0	0	0		0	0	0		35	0	0	2				3	0	40
17 食事の事務処理	0	0	2	0		0	0	0		12	0	0	1				1	0	16
18 機器故障・不良	0	0	0	1		6	0	0		0	0	0	0				0	0	7
19 撮影に関すること	0	0	1	0		1	5	0		0	0	0	0				1	0	8
20 操作間違い	0	0	0	0		0	0	2		1	0	0	0				0	1	4
21 抜去(故障・自然)	0	19	31	0		0	0	0		0	0	0	0				15	0	65
22 チューブの管理	1	12	55	0		0	0	2		0	0	0	0				8	3	81
23 接続に関すること	0	0	5	1		0	1	0		0	0	0	0				4	0	11
24 車椅子・椅子	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
25 紛失	0	0	3	0		0	0	2		0	0	0	0				2	0	7
26 熱傷・火傷	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
27 外傷の発見	0	21	23	0		0	0	3		0	0	0	2				22	0	71
28 外傷の発生	0	6	10	2		0	0	6		0	0	0	6				15	0	45
29 事務処理	3	0	2	3		11	3	3		0	2	2	0				0	7	36
30 オーダー入力	0	0	1	0		3	2	3		0	8	0	0				0	0	17
31 備品の不備	0	0	0	0		3	0	0		0	0	0	0				5	0	8
32 異食	0	0	1	0		0	0	0		0	0	0	0				4	0	5
33 嘔下に関すること	0	0	0	0		0	0	1		0	0	0	0				0	0	1
34 無断外出・領域外に出る	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				4	0	4
35 送迎に関すること	0	0	0	0		0	0	0		0	0	2	5				1	0	8
36 車両事故に関すること	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	2	3			0	2	7
37 個人情報	0	0	0	1		0	0	0		0	0	0	3				0	4	8
38 入浴に関すること	0	0	1	0		0	0	0		0	0	0	4				1	0	6
39 暴力・セクハラ	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
40 その他	0	5	13	2		2	0	15		2	0	0	2				30	5	76
41	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
42	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
A 知識不足	2	2	7	2		0	0	6		2	0	0	0				4	4	29
B 患者の情報不足	0	22	32	2		0	2	3		0	0	0	6				53	8	128
C 観察, 管理不足	0	141	109	4		3	6	23		15	0	0	13	3			191	15	523
D 照合, 確認不足	2	37	41	15	2	21	6	8		56	10	5	11	3			114	16	347
E 連絡不足	2	2	9	1		3	2	6		1	0	0	1				10	2	39
F 誤った思い込み	3	1	17	7		3	6	18		20	7	0	11				103	9	205
G 医師の指示	0	0	12	0		1	0	0		0	0	0	0				0	0	13
H 環境整備不足	0	40	23	2		10	2	15		3	0	0	4				66	2	167
I 説明不足	0	5	1	0		0	0	1		0	0	0	3				6	0	16
J 態度言葉づかい	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
K 技術	0	7	8	2		0	1	3		1	0	0	6				14	2	44
L 居室で観察困難	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
人命	5	141	148	19	2	3	9	21		16	3	0	16				95	8	486
財務	0	7	46	2		5	1	7		1	2	0	2	1			4	2	80
業務	2	46	53	8		12	5	10		1	3	3	5				1	8	157
評判	3	2	27	11		9	2	10		64	0	2	9	2			11	12	164
レベル 1 件数	3	59	67	13	2	6	7	9		17	4	1	8				160	5	361
レベル 2 件数	0	59	49	4		1	2	7		1	0	0	0				37	3	163
レベル 3 件数	2	22	35	2		0	0	5		0	0	0	8				28	0	102
レベル 4 件数	0	1	0	0		0	0	0		0	0	0	0				1	0	2
レベル 5 件数	0	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0				0	0	0
合計	5	141	148	19	2	7	9	21		22	4	1	16	0			226	9	630
財業評	4	37	96	16		20	5	13		56	7	5	11	3			7	16	296
レベル 2 件数	1	13	5	0		5	1	2		0	0	0	0				1	2	30
レベル 3 件数	0	3	2	0		0	1	1		6	0	0	0				0	0	13
合計	5	53	98	16	0	20	7	16		59	7	5	11	3			7	18	325
レポート件数	6	198	165	25	2	34	14	35		66	10	5	25	3	0	0	236	27	851

	項目	医局	病棟 2F	病棟 3F	外来	手術 中材	薬局	検査 検診	X線	リハビ リ	給食	医事	総務	通所 リハ	居宅	保育	地域 連携	やす らぎ	ちゃ いむ	合計	
1	患者間違い								1										1		2
2	処方箋																				0
3	混入間違い		1																		1
4	量・重複与薬																				0
5	与薬漏れ忘れ		1																2		3
6	与薬に関すること		4	2															6		12
7	注射に関すること		3	4																1	8
8	指示に関すること		1		1			3	1												6
9	検査に関すること							7													7
10	苦情に関すること																				0
11	転倒等		1	6						6									42		55
12	転落		2	5						2									9		18
13	針刺し・切創・擦過等																		1		1
14	食事盛り付け																				0
15	食事調理																		2		2
16	配膳間違い										1										1
17	食事の事務処理		1																1		2
18	機器故障・不良		1		1			2													4
19	撮影に関すること																				0
20	操作間違い			1				1													2
21	抜去(故障・自然)			4						1									1		6
22	チューブの管理			9													1		5		15
23	接続に関すること			2																	2
24	車椅子・椅子																				0
25	紛失									1									4	1	6
26	熱傷・火傷																				0
27	外傷の発見																				0
28	外傷の発生			1																	1
29	事務処理				1			3												3	7
30	オーダー入力																				0
31	備品の不備			1				1	1								2				5
32	異食																		3		3
33	嚥下に関すること																				0
34	無断外出・領域外に出る													2					1		3
35	送迎に関すること									1		1					1		3		6
36	車両事故に関すること																				0
37	個人情報									1									1	2	4
38	入浴に関すること																		3		3
39	暴力・セクハラ																				0
40	その他		1	15						4									10	1	31
41																					0
42																					0
A	知識不足		2	10	1					2										2	17
B	患者の情報不足		1	5						2									16		24
C	観察, 管理不足		13	30	1				1	9				3				64	4		125
D	照合, 確認不足		4	5	1			4	1	2	1		1	1				41	7		68
E	連絡不足			1						2				1					4		8
F	誤った思い込み		1	2	2			1	1	10									37	2	56
G	医師の指示																				0
H	環境整備不足		3	23				6		7				2			4	38	4		87
I	説明不足									3									1	1	5
J	態度言葉づかい																				0
K	技術																		2		2
L	居室で観察困難																				0
	人命		5	41	1			1	2	11	1			2					45		109
	財務		3	1				1									2				7
	業務		8	8	2			3	1	1			1				4	1	2		31
	評判			1	2				1	1									8	4	17
人命	レベル 0			3					2	1	1			1					1		9
	レベル Hi		5	34	1			1		10				2					71	3	127
	合計		5	37	1			1	2	11	1		0	3			0		82	3	146
財業評	レベル 0		4	2				1	1	2							2			2	14
	レベル Hi		7	2	3			7									2			2	23
	合計		11	4	3			8	1	2	0		1				4		10	4	48
	レポート件数	0	16	42	3	0	0	10	3	13	1	0	1	3	0	0	4		88	7	191

* 褥瘡リスク者・褥瘡有病者率

病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	H27	H26	H25
入院総数	77	73	76	77	76	74	76	78	76	77	74	78	912	76	74	73	73
褥瘡リスク者数	63	58	58	59	63	63	65	67	68	57	55	53	729	61	61	58	54
褥瘡リスク者率	82%	79%	76%	77%	83%	85%	86%	86%	89%	74%	74%	68%	80%	80%	82%	78%	74%
褥瘡有病者数	7	5	3	2	5	5	3	4	6	7	3	7	57	5	5	6	6
褥瘡有病者率	9%	7%	4%	3%	7%	7%	4%	5%	8%	9%	4%	9%	6%	6%	8%	11%	10%
褥瘡発生数	0	1	1	1	2	1	1	1	1	4	0	2	15	1	1.0	1.2	1.3
褥瘡発生率	0%	1%	1%	1%	3%	1%	1%	1%	1%	5%	0%	3%	2%	2%	2%	2%	2%
褥瘡治癒数	0	2	1	2	1	1	4	1	0	1	2	0	15	1			
褥瘡治癒率	0%	3%	1%	2%	1%	1%	5%	1%	0%	1%	3%	0%	2%	2%			

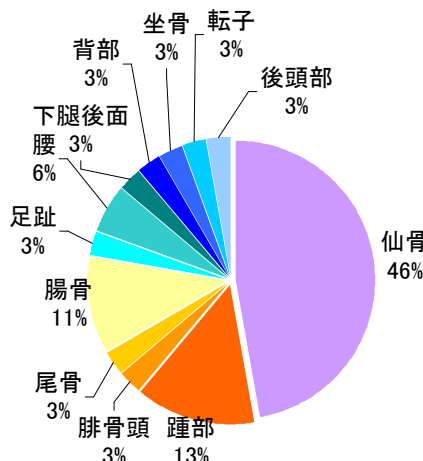
やすらぎ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	H27	H26	H25
入所者総数	46	45	46	46	45	45	41	41	45	40	40	46	526	44	44	46	47
褥瘡リスク者数	37	35	36	34	33	34	29	28	30	27	20	37	380	32	34	37	38
褥瘡リスク者率	80%	78%	78%	74%	73%	76%	71%	68%	67%	68%	50%	80%	72%	72%	78%	80%	82%
褥瘡有病者数	0	1	0	1	1	1	2	2	3	3	2	3	19	2	0.7	1.3	0.8
褥瘡有病者率	0%	2%	0%	2%	2%	2%	5%	5%	7%	8%	5%	7%	4%	4%	2%	4%	2%
褥瘡発生数	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	6	1	0.3	0.1	0.4
褥瘡発生率	0%	2%	0%	2%	0%	0%	2%	0%	0%	3%	5%	0%	1%	1%	1%	0%	1%
褥瘡治癒数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0			
褥瘡治癒率	0%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%			

ちやいむ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	H27	H26	H25
利用者総数	65	66	58	61	67	61	56	61	59	56	60	58	728	61	66	61	60
褥瘡リスク者数	32	32	28	27	28	29	26	27	26	24	21	25	325	27.1	43	51	44
褥瘡リスク者率	49%	48%	48%	44%	42%	48%	46%	44%	44%	43%	35%	43%	45%	45%	65%	84%	76%
褥瘡有病者数	2	4	4	4	2	2	1	1	2	1	2	2	27	2.3	1.6	2	2.8
褥瘡有病者率	3%	6%	7%	7%	3%	3%	2%	2%	3%	2%	3%	3%	4%	4%	2%	3%	7%
褥瘡発生数	1	1	2	1	0	1	0	0	1	0	1	0	8	1	0.3	0.1	0.3
褥瘡発生率	2%	2%	3%	2%	0%	2%	0%	0%	2%	0%	2%	0%	1%	1%	1%	0%	1%
褥瘡治癒数	1	1	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	6	1			
褥瘡治癒率	2%	2%	0%	0%	4%	0%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%			

*褥瘡発生部位別平均

	仙骨	踵部	腓骨	尾骨	腸骨	足趾	腰	下腿	背部	坐骨	転子	後頭部
褥瘡発生件数	17	5	1	1	4	1	2	1	1	1	1	1

褥瘡発生件数



各部署活動報告

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(外来)

(佐藤 優子)

4月からは新人実習を2ヶ月2名ずつで受け入れた。また、訪問看護、やすらぎ通所の中途採用者への外来実習も行い、他部署との連携強化へ繋がるように取り組んだ。部署内では肝炎新薬の勉強会を開催し最新の治療法を学んだ。また個々が自己研鑽へ取り組み、情報共有し業務改善へと繋がるよう努力した。地域医療を担う外来看護の役割を理解し、広い視野を持って看護の提供ができるよう今後も努力していく。

4月	個人目標決定 新人実習
5月	医療安全勉強会 新人実習
6月	特定健診・癌検診開始 内視鏡デモ開始 新人実習
7月	肝炎勉強会・内視鏡デモ機の評価 新人実習 救急デモスト
8月	倫理事例検討 新人実習
9月	目標管理シート中間評価 新人実習
10月	新人実習の振り返りと今後の課題抽出 肝炎勉強会
11月	インフルエンザワクチン接種開始
12月	インフルエンザワクチン企業訪問接種
1月	特定健診・癌検診の振り返り・手順の見直し
2月	救急デモスト 感染管理勉強会
3月	スタッフ個人目標評価

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(2階病棟)

(山根久美子)

4月からの新人は4名であり、これはここ数年来初めてのことであり、外来の協力をいただき、処置や検査など病棟では少ない経験をさせて頂きました。プリセプターやリーダー等指導する側もお互いに情報交換の必要性を感じ勉強会を通して成長につながっているとおもわれる。

今年度は家族指導を行い在宅に退院される方が多く、受け持ち看護師として御家族との関わりや地域連携室やリハビリなど他部署との関わりについても多くの学びを得たのではないかと思う。

接遇面において患者様やご家族から指摘を受ける事もあり、この点についてが今後の課題である。

4月	病棟目標の確認 チーム編成見直し 新人教育
5月	新人教育進行評価 業務手順見直し 個人目標の確認 救急・処置デモスト
6月	チームナーシング評価 看護倫理勉強会 看護体制見直し 新人教育中間評価 救急・処置デモスト
7月	褥瘡防止対策強化月間 出張報告 救急・処置デモスト
8月	身体拘束防止月間 救急・処置デモスト
9月	業務改善：看護体制・日勤業務 病棟運営役割り確認 出張報告 救急・処置デモスト
10月	接遇事例検討 宝物探し 病棟運営評価・勉強会 出張報告 救急・処置デモスト
11月	新人教育手順評価 出張報告 救急・処置デモスト
12月	感染対策強化月間 出張報告 救急・処置デモスト
1月	転倒防止対策強化月間 出張報告 救急・処置デモスト
2月	チーム評価と再編成 看護体制評価 出張報告 救急・処置デモスト
3月	今年度の反省 次年度の目標設定 新人教育準備 救急・処置デモスト 個人面接 新人教育手順見直し

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(3階病棟)

(草加美由紀)

4月より新人2名を受け入れた。新人研修を1週間実施、外来も2ヶ月間経験しこれまでより充実した環境のもと受け入れをした。新人指導をきっかけに病棟での業務や手順の見直しを再度おこなった。病床の変化に応じて時差勤務をはじめリーダーの体制や各勤務の見直しを行い、各職種・各役割が責任を持って業務を遂行できるよう努めた。今後も各自研修や勉強会に、積極的に参加し自己研鑽に努めていく。

4月	新人教育も含め、勉強会を通して接遇について学ぶ。 環境整備を徹底し患者様のより良い療養環境を提供する。
5月	プリセプター会を定期的開催し、新人に合った教育を行う。 安全に業務を遂行していける環境づくりを行う。
6月	デモトを通して災害時の動き方を学び、注意点を理解した上で実践することが出来る。チームアプローチ、基準手順書を見直し、確実に業務を行う。
7月	尿路感染症の勉強会を通して菌・ウイルスの理解を深め、排泄物の処理方法や取り扱いについて理解する。ケアプランの修正や評価を行い、個別せいのあるケアを行う。
8月	デモトを通して実際に急変の対応を振り返り、日々の業務に活かすことができる。標準予防策に基づき、病室の環境整備を行い、感染予防に努める。
9月	死後の患者様のケアや、ご家族へのメンタルケアについて理解し、実践することができる。新勤務体勢においてメリット・デメリットを評価することができる。
10月	新人、スタッフ教育を振り返り、個別に合った再教育を行うことができる。療養環境の改善。患者様の物品の管理を徹底する。
11月	デモトや勉強会を通し、学習したことを実践できる力を習得する。感染予防を対策に基づき、感染の予防・拡大を防ぐ。
12月	スタンダードアプリケーションを徹底し、感染症予防に努める。時差勤務での業務内容の見直しを行う。
1月	デモトを通し、感染物の取り扱いについてスタンダードアプリケーションに基づいて理解することができる。環境整備を行い、感染経路の遮断、拡大を防ぐ。
2月	時差勤務、深夜勤務態の業務の内容を見直し、円滑に業務を行いことができる。感染症に発症しないように自己管理を行う。
3月	新人迎えるための準備を行う。今年度の目標に対しての評価を個々で実践し次年度の目標を明確にすることができる。

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(通所リハビリテーション)

(大倉 義晴)

(総評)

平成 27 年末～28 年上半期にかけ、各居宅介護支援事業所や病院の地域連携室を訪問し、営業活動を行った。この数年利用者減少が続き 1 日平均利用者数も 20 名を割ることもあったが、短時間リハビリの積極的な受け入れをし、11 月には 24.7 名まで増加することが出来た。また、送迎に関しては送迎専属スタッフの雇用や、総務の協力を得て実施できた。1 月以降入院や体調不良者多く、利用者減少傾向で推移した。

大きな行事は回数を減らし、小さなイベントを給食の協力の下、数多く「食」に関するイベントを実施することが出来た。利用者様も反応が良く、今後も継続していきたいと考えている。

4 月	お花見イベント どら焼き作り スタッフ個人目標決定
5 月	母の日
6 月	父の日
7 月	夏の大運動会 劇団潮風 (ボランティア)
8 月	かき氷作り
9 月	
10 月	豚まん作り ケーキ作り メロンソーダ作り
11 月	
12 月	クリスマス週間イベント ピザ作り
1 月	一人鍋
2 月	特殊詐欺被害防止の啓蒙 (ボランティア) 巻きずし作り
3 月	スタッフ個人目標評価 劇団潮風 (ボランティア)

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(放射線科)

記入者

(山根 健嗣)

(総評)

今年度は技師間の技術格差をなくすために、画像チェックを導入した。個々の苦手とする撮影の把握を容易にし、的確な指導・教育に成果があった。

近隣他院との骨密度測定装置の共同利用を試み手順を整備したが、契約までには至らず今後の課題となってしまう。

2009年にPACSを導入して以来、過去のX線フィルムを順次、廃棄していたが、今年度全てのX線フィルムの廃棄が完了し、院内の画像は全て電子化がなされた。また照射録についても電子化が承認され、放射線科内における電子化の作業は順調に進んでいる。

下半期にはPACSサーバーも更新し、放射線科の安定的な運営につながっている。

4月	撮影技術の標準化を目標に、画像チェック開始
5月	骨密度測定装置の共同利用について手順を整備 X線フィルム廃棄、院内画像は全て電子化へ
6月	
7月	
8月	マンモグラフィー認定更新 照射録の電子保存開始
9月	
10月	CT管球交換
11月	研修会：岡山県消化管撮影研究会
12月	
1月	CRコンソール更新 研修会：岡山 Bonehealthu ミーティング
2月	PACSサーバー更新 研修会業務拡大における統一講習会
3月	研修会：生活習慣病検診等管理指導協議会 (肺がん部会、胃がん・大腸がん部会)

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(リハビリテーション科)

(野口 龍)

(総評)

平成 28 年は診療報酬改定の年であり、廃用リハ新設や維持期患者様の介護保険サービスへの移行、目標設定支援管理料の算定等、多くの項目について対応が必要な年でした。特に、維持期患者様の介護保険サービスへの移行については、ご本人やご家族さまだけでなく、受け入れ先の通所系サービス事業者や訪問リハビリ、そして担当ケアマネージャー等多くの方々に説明し、理解していただいた上での移行の調整を進めていく必要があります、現場のスタッフは非常に頑張ってくれたと思います。

また、患者様の廃用予防や退院後の通所系サービス利用へのつながりをもたせたり、病棟業務軽減目的もあり、平成 27 年から院内デイケアという取り組みを始めていますが、28 年はその取り組みの充実を図った年でした。病棟との協力体制を強め、対象者や時間帯を拡大し、集団リハや iPad を用いた新しい作業を導入したりしました。

リハビリテーション科では定期的な勉強会（全体・階層別・新人・部門別）の実施に加えて、出張後の伝達講習会や、今年は「在宅に繋げる入院リハ」というテーマで、通所リハビリのケーススタディや訪問リハビリへの入院スタッフの同行、福祉用具業者主催の勉強会を行なうなど、意識改革を伴った学習機会を積極的に設けてリハビリの質の改善に努めています。その一環として、「リハたいむゼリー」という栄養補助食品の導入も平成 27 年から試験的に導入していましたが、こちらは病院の規模や利用者層の問題で、基本的には給食での対象者選定や栄養補給となりましたが、リハスタッフへの栄養面の重要性についての意識付けは出来たと思います。

また、複数の学校から毎年実習生を数名受け入れています。今年も指導の機会を担当スタッフの成長につながっただけでなく、当院への就職にもつながり、良い関係性を築けているのではないかと思います。

リハビリテーション科は訪問リハビリや病院・老健の通所リハビリにも必要に応じて人員協力をしています。28 年度は特に需要が高く、兼務者が多く業務が多忙にはなりましたが、一方では他部署の雰囲気や業務内容を学ぶ良い機会であり、対象スタッフは大きく成長し、その影響は部署内の他スタッフにも波及したように思います。

29 年度は病院機能評価更新受審の年となっています。準備には苦労もありますが、毎年バージョンアップしている筈のリハビリテーション科の状況を適切に評価していただき、より良い部署となるべく、これからも努力を続けていきたいと思っています。

4 月	新人 PT2 名配属 PT1 名入籍 育休明け PT1 名 やすらぎ喫茶協力 新人看護職員指導（口腔ケア・介助法） 診療報酬改定（廃用リハ新設・維持期患者介護保険サービスへの移行）
5 月	新人 ST1 名配属 PT1 名やすらぎ通リハ兼務開始 PT1 名訪問兼務 追加 リハ科新人歓迎会 朝日医療大学校 PT 実習

6月	緊急時デモスト（急変時対応・吐物処理・災害時対応・MP 対応） 介護グループ勉強会「移乗」講義 吉備国際大学 PT 実習
7月	医療監視 PT1 名・OT1 名結婚式 玉野総合医療専門学校 PT 実習 川崎医療福祉大学 OT 実習 介護グループ勉強会「食事介助」講義 やすらぎ喫茶協力 廃用リハ査定対応
8月	PT1 名 3 週間入院 トレッドミル故障→エリプティカルに更新 玉野総合医療専門学校見学実習 PT2 名×2
9月	健診健康講座への協力 秋祭り（焼きそば・フリマ）
10月	目標設定支援管理料算定開始 やすらぎ喫茶への協力 停電時の対応確認
11月	ST 室病院通りハとの兼用開始 徒手療法技術テスト（PTOT）
12月	PT1 名病院通りハ兼務追加 朝日医療大学校 ST 実習 リハ科忘年会 大掃除
1月	病院機能評価準備開始 次年度リハ科勉強会スケジュール作成 朝日医療大学校 ST 実習
2月	OT リーダー交代 PT1 名 OT1 名入籍
3月	病院通所リハビリへ PT2 名異動

【各部署・委員会の活動報告】

部署

(訪問リハビリ)

記入者

(掛田 有美)

(総評)

平成 28 年度はより多くの利用者様、事業所と関わる事ができました。当院グループ内からは、退院後の在宅生活フォローや、外来維持期リハビリからの移行を中心に、またグループ外からも多くの依頼を頂き、利用者数、訪問件数ともに昨年度より増加しています。訪問看護ステーションちやいむとも協力し営業に回ったり、当院退院後訪問リハビリを利用されている方への入院スタッフの同行訪問など新しい試みも実施しました。各自研修会や勉強会にも参加しており、自己研鑽にも励んでいます。

今後も関連部署・事業所とより密に連携を図り、利用者様に満足していただけるよう、地域における訪問リハビリの役割を果たしていきたいと思えます。

4月	社会参加支援加算算定開始
5月	
6月	
7月	地域リハビリテーション領域におけるリスクマネジメントについての勉強会実施、在宅移行円滑推進のための研修会参加
8月	地域リハビリテーション伝達講習
9月	
10月	
11月	在宅移行円滑推進のための研修会参加 介護保険研究会参加
12月	当院退院後の訪問リハビリ利用者の入院スタッフ同行訪問開始
1月	在宅移行円滑推進のための研修会参加、利用者満足度アンケート実施、訪問リハビリテーション実務者研修会参加
2月	訪問リハビリテーション実務者研修会参加

3月	満足度アンケート結果配布
----	--------------

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会
(検査)

記入者
(瀬尾 京子)

(総評)

患者様に安心して受診して頂けるよう、検査科としてできる診療支援体制や環境整備に努めた。まず、今年度、検査相談窓口「検査お助け隊」を開設し、患者様に顔が見える、話しやすい関係を築いている。また、検体採取等の法改正を契機に病棟採血へ向け準備中である。患者様や他部署からの多様なニーズに対応できるよう多職種連携した体制づくりにも力を入れている。

さらに、患者様へ質の高い検査を提供するために、毎年外部精度管理調査へ参加し一定の評価を得ている。また個々の知識・技術向上への自己研鑽も日々行っており、院内・部署内研修会、および外部研修会に積極的に参加している。

検査

4月	新人教育研修 新人看護師対象 時間外検査説明会 肺機能検査システム運用開始
5月	部署内年度個人目標発表会 生化学検査機器見学会
6月	CJET 第8回中国地区血管内治療研究会
7月	保健所医療監視 検体採取に関する厚生労働省指定講習会
8月	岡山県医師会・技師会主催精度管理調査 検体採取に関する厚生労働省指定講習会
9月	日本医師会主催精度管理調査 第65回日本医学検査学会
10月	平成28年度岡山県臨床検査精度管理速報会 第18回岡山県肝炎医療従事者研修会
11月	病棟採血等に係わる業務見学開始(11月～2月) ECHO 淡路 日本臨床検査技師会中国支部会
12月	Primary careにおける糖尿病治療 up Date 肝疾患に関する医師以外の医療従事者研修会
1月	検査相談窓口「検査お助け隊」開設

2月	患者急変時対応デモスト 検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会 乳腺超音波技術取得のための他院実地研修（3ヶ月間）
3月	院内輸血による輸血後感染症実施 岡山県学会

健診

4月	企業カルテ運用開始 受診者アンケート開始（二次精査未受診者対象）
5月	栄養指導を結果につなげるセミナー 病院の日・看護の日の内臓脂肪測定 新規オプション開始（Lox index、view39）
6月	地域貢献活動（健診の講義） 岡山市特定健診・がん検診開始（12月まで） 特定健診当日階層化による特定保健指導開始
7月	協会けんぽ生活習慣病予防健診における実地調査 ストレスチェック実施 ドック待合室のパーテーション設置 企業向けポスター作成（熱中症対策）
8月	
9月	企業への健康出張講座 生活習慣病予防健診受診者の当日階層化による特定保健指導開始
10月	企業向け感染ポスター（インフルエンザ対策）
11月	肝炎サポーター取得 糖尿病週間での栄養指導 やすらぎ喫茶会での栄養指導 インフルエンザ企業への出張接種（11月～12月）
12月	新規オプション開始（乳がんマーカー）
1月	協会けんぽ情報提供サービス運用開始
2月	
3月	

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(医事

)

記入者

(原田 幸恵

)

(総評)

平成28年度診療報酬改定への対応を今年度の目標として他部署と連携して取り組んだ。データ提出については10月分データより医療・看護必要度のHファイルの提出が必要となることから、看護部との調整や準備を実施した。廃用症候群リハビリテーションでの添付書類ではICDに準拠した疾病コードの記載が必要となり、また、データ提出、診療記録の開示など診療情報管理士が取り扱う業務が増え、今後も必然的に増えていくことが想定されることから、新たに2名診療情報管理士の取得を目指し通信教育の受講を開始した。診療報酬請求の精度を上げることを目的に、診療報酬事務能力検定への受検にも取り組んでいる。受付では患者様利用者様のニーズを的確に捉え対応することを目標に取り組み、意見箱やアンケートで好評価をいただくことができた。これを励みとし、さらなるサービス向上を目指していきたい。

4月	データ提出 (H28年1・2・3月分)
5月	
6月	平成28年度診療報酬改定説明会 リハビリテーション査定報告検討会 部内教育「リハビリテーション料について」
7月	平成28年度診療報酬改定説明会 診療報酬事務能力検定 データ提出 (H28年4・5・6月分)
8月	病棟担当者配置変更 部内教育「治療費支払い誓約書の取り扱いについて」 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント科実習 診療情報管理士通信教育基礎課程スクーリング (武田)
9月	リハビリテーション査定報告検討会 診療情報管理士通信教育基礎課程スクーリング (濱野) 診療情報管理士通信教育専門課程スクーリング (佐々木)
10月	第7回医事業務研究会「診療報酬改定に伴う疑義題」 (濱野) 労災診療費算定実務研修会 (時岡) データ提出 (H28年7・8・9月分) データ提出検討会 (Hファイル作成) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント科実習

11月	診療報酬事務能力検定勉強会
12月	診療報酬事務能力検定 第1回医療情報セミナー 「変化を続ける健康概念、カルテ開示とそれに関わる診療記録」(原田)
1月	データ提出 (H28年10・11・12月分) 部内教育「他医療機関受診について」
2月	
3月	診療情報管理士通信教育基礎課程スクーリング (武田・濱野) 診療情報管理士通信教育専門課程スクーリング (佐々木)

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(総務)

記入者

(岩戸 忍)

(総評)

28年度は3月に事務担当者異動に伴い、4月から新人1名をむかえ新体制のスタートとなりました。長年に渡り購買担当者1人で業務を行っていたことで手順書もなく、旧体制からのレベルダウンをしないよう業務を行いました。

「作業手順の見直し」についても、業務の引継ぎ資料の一環として作成をしていましたが、満足いくものではなく、来年度も作業手順の見直し及び、標準化、分担等を今一度実施して必要があります。

また、自己研鑽については各人が研修会へ積極的に参加できましたが、院外研修等へ参加があまりできていなかったのでもちも来年度実施していきたいと思ひます。

4月	新人教育研修 人員1名増員となり、6名となる 病院カーテン二重化工事・リース物件入替
5月	南館チラーコンプレッサー交換 要安全確認計画記載建物として病院を報告
6月	不在者投票
7月	医療監視 非常用電源増設工事(赤コンセント) 4階健診待合天井塗装
8月	ストレスチェック
9月	水銀血圧計廃棄
10月	病院高圧受電年次点検(全館停電) (PCB使用コンデンサ交換) 不在者投票
11月	病院看板灯更新 3階病棟バルブ交換 通りハ高圧受電年次点検(停電)
12月	佐藤グループ研究発表(総務) 地域型保育事業認可
1月	

2月	3階北館空調機入替工事
3月	新人受入準備

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(居宅介護)

記入者

(藤井 英次)

(総評)

今年度は、利用者層が変化する年度でした。重度介護利用者が減少し、軽度利用者が増加しました。その為、年度当初は、事業所区分として特定事業所加算Ⅰを取得していましたが、7月に重度利用者数の割合を確保できず特定事業所加算Ⅱに落とすことになりました。

昨年度は、利用者数が順調に増加していたので、今年度、1名人員追加しました。

しかしながら、今年度は、利用者数が伸び悩んでいます。特別養護老人ホームなどへの重度介護者の入所等も多く、終了となるケースが多いです。内部的には、質の向上を目指しモニタリング、アセスメント書式の改良に努めました。

4月	
5月	モニタリング書式の変更
6月	第1回岡山市居宅介護支援事業所連絡協議会 マッチングプラザ参加
7月	特定事業所加算Ⅰ⇒Ⅱに変更 南福祉事務所管内ケアマネジャー交流会参加
8月	岡山介護支援専門員 更新研修参加 在宅療養支援強化研修
9月	前期特定集中減算あり(通りハ) ⇒ 正当な理由により減算無し 高齢者の人権擁護と虐待防止、成年後見に関する研修
10月	人員1名追加となり、部署の人員が8名となる
11月	介護保険研究会参加 介護予防・日常生活支援総合事業説明会参加
12月	介護予防マネジメント研修会
1月	介護予防・日常生活支援総合事業説明会参加(二回目)
2月	アセスメント書式の変更 集団指導参加
3月	コピー機の変更

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(地域連携室)

記入者

(宇民 やよい)

(総評)

平成 28 年度は 1. 地域包括ケアシステム構築のために地域医療機関、介護施設、在宅部門との連携強化を図る。2. H28 年度診療報酬改定を受け、退院支援に関し、急性期病院との更なる連携促進に努める。3. 今年度中に介護病床の経鼻栄養患者の退院調整を終了する。を目標に掲げ、2 月時点での紹介患者数は昨年度に比べ増加し、病床稼働数も平均 80%以上をキープできています。H28.9 月より「退院支援加算 1」を取得でき、患者・家族との早期からの関りがシステム化できました。介護病床におられる経鼻経管栄養患者も病状に応じて転院調整を行う事ができ、2 月現在、0 名となっています。

4 月	H28 年度診療報酬改定についての勉強会実施(部署内)
5 月	H28 年度診療報酬改定についての勉強会出席(院内)。 5/10 病院の日・看護の日無料健診、相談窓口出席 5/10 旭東地域ネットワーク参加(田中：岡村一心堂病院 5/30 光生病院医療連携懇話会参加(宇民・田中・山田)
6 月	6/1 「在宅医療介護推進の最新の動向」出張報告(宇民) 6/4 「H28 年度診療報酬改定説明会(社会福祉協議会主催)」四国会場： 田中 6/8 川崎病院(山田、宇民)・6/22 岡山医療センター(田中)、病診連携の会 6/10 「晴れやかネット活用に向けた新たな展開」県病院協会主催(宇民) 6/14 もも脳ネット看看連携、運用会議：岡山医療センター於(宇民) 6/15 「福島学区役員との意見交換会」(宇民・田中・山田) 6/16 「岡南フォーラム：患者サポートセンター開設について」ろうさい病院(宇民)
7 月	7/4 「在宅移行円滑推進のための研修会」(岡山県病院協会主催)：宇民 7/7 「個人情報管理・担当責任者養成研修会ベーシックコース」(全日本病院協会主催)：宇民 7/12 旭東地域ネットワーク参加(田中：光生病院) 7/16MSW 基礎研修出張報告(3 年目：山田) 7/28～7/29 県外病院合同見学(岡山県病院協会主催)、聖隷浜松病院・福祉村病院：山田 < 病病・病診連携 > 7/29～地域連携室 3 人で 23 箇所 of 病院、診療所を訪問開始。
8 月	8/4 岡山ろうさい病院病診連携(宇民・田中・山田) 8/24～25 川大医療経営学科：実習生 1 名受入(担当：田中・山田) 8/24 岡山市保健福祉局医療政策推進課地域ケア総合推進センター主催の退院調整看護師研修会にて発表(宇民) 8/30 済生会病院より退院調整看護師、MSW 病院訪問に来られる。 < 病病・病診連携 > 病院訪問 23 箇所終了。

<p>9月</p>	<p>9/1～「退院支援加算1」算定開始 9/7「病院とケアマネジャーの連携のためのルールブック」聞き取り調査(宇民・田中・山田：ケアマネ協会より3人来院) 9/9第7回「岡山市医療連携ネット」研修会参加(宇民・田中・山田) 9/9岡山連携実務者の会(宇民・田中・山田) 9/13旭東地域ネットワーク会議参加(宇民・田中・山田)当院会場 9/16医療安全研修会(個人情報保護部会：発表(宇民)) 9/21もも脳ネット運用会議・看看連携出席 9/7岡山赤十字病院・9/17旭東病院・9/29協立病院懇親会参加</p>
<p>10月</p>	<p>10/4玉野市難病相談会：社会福祉協議会の依頼で、田中が相談員として参加。 10/12～13川大医療経営学科：実習生1名受入(担当：田中・山田) 10/21玉野市民病院MSW3名来院、看護部長+当院MSW3名で対応。 10/29全日本病院協会、日本医療法人協会、岡山県支部合同勉強会参加(宇民)</p>
<p>11月</p>	<p>11/4岡山市市民病院於、岡山県病院協会主催：在宅移行円滑推進のための研修会参加(宇民) 11/8旭東地域ネットワーク参加(山田：西大寺病院) 11/8介護保険研究会(田中) 11/12医療連携交流会(山田：岡村一心堂病院) 11/18済生会病院MSW2名来院、当院MSW3名にて対応。 11/24岡山医療センター於、もも脳ネット看看連携事例検討会参加(宇民) 11/25MSW基礎研修参加(3年目：山田) 11/26「地域包括ケア推進フォーラム」岡山県看護会館(宇民)</p>
<p>12月</p>	<p>12/10MSW基礎研修参加(山田)、(ファシリテーター：田中) 12/12～12/20病院挨拶廻り、訪問：宇民・田中・山田にて21箇所済 12/21もも脳ネット運用会議・看看連携(宇民：岡山医療センター) 12/22河合外科内科：看護部長来院、当院(看護部長、副看護部長で対応)</p>
<p>1月</p>	<p>1/17、1/20教育委員会研修会参加「クレーム対応」：宇民・田中・山田 1/10旭東地域ネットワーク参加(田中：岡山リハビリテーション病院) 1/13岡山市市民病院於、退院調整看護師研修会参加(宇民) 1/24「地域連携のためのWEBシンポジウム」(宇民・田中・山田)</p>
<p>2月</p>	<p>2/7第2回在宅移行円滑推進のための研修会(全県)：(宇民) 2/16病院機能評価受審予備講習会(宇民) 2/18MSW基礎研修参加(3年目：山田) 2/19「もも脳ネット連携フォーラム：1回目」(宇民)</p>
<p>3月</p>	<p>3/4MSW基礎研修参加(3年目：山田) 3/9第8回「岡山市医療連携ネット」研修会参加(宇民) 3/10「岡山連携実務者の会」(宇民・田中・山田) 3/13「在宅移行円滑推進のための意見交換会：岡山支部」(宇民)</p>

	3/14 旭東地域ネットワーク参加(田中：岡山協立病院) 3/18 「もも脳ネット連携フォーラム：2回目」(宇民・田中) 3/21 もも脳ネット運用会議・看看連携(宇民：岡山赤十字病院)
--	---

アンケートへの返答：

10/31 「スモンに関する調査研究班」 難治性疾患等政策研究事業

9/30 「医療ソーシャルワーカーにおける交通・労災事故被害者への対応状況」 備前法律事務所

委員会報告

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(医療機器管理委員会)

(河村 智佳子)

(総評)

業者との連携を密にし、ネットニュースにアンテナを伸ばし、迅速な医療安全情報の発信が行えるよう、部会の無い月でも医療安全管理委員会で報告し、部会活動の充実に努力した。

各地で地震災害が発生しており、当院での停電時の対応方法や非常電源の設置場所の確認のために7月に研修会を行った。

4月	定期委員会
5月	内視鏡装置デモの開始 (オリンパス・FUJI) ~7月まで名 「酸素療法と加湿の必要性」研修会 (5/31) : 73名
6月	定期委員会 パルスオキシメータデモ開始開始 血糖測定器の標準化検討検討 3階病棟セントラルモニター購入 (6/29) 更新時研修会 : 18名
7月	医療安全研修会開催 (7/22) : 参加者 73名 「停電における医療機器の安全使用マニュアル」 「停電を振り返り、その問題点と対策」 医療監視 (7/28) ベットサイドモニタ (7/15) 更新時研修会 : 22名
8月	定期委員会 輸液ポンプ外注で総点検 (22台) 内視鏡装置購入 (8/4) 更新時研修会 : 参加者 8名
9月	
10月	定期委員会 水銀血圧計廃棄に伴い医用電子血圧計 6台購入
11月	人工呼吸器 1台レンタル開始
12月	定期委員会 輸液ポンプ標準化に基づき同機を 2台購入
1月	

2月	定期委員会 スモーカーライザー更新 人工呼吸器購入検討
3月	

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(個人情報保護部会)

(野口 龍)

(総評)

当部会は医療安全管理委員会の下部組織として、偶数月、2ヶ月に1回定例会を開催している。次年度からは部会から委員会に変わるが、活動内容としては特に変わりなく、①定例会の開催、②インシデント及びアクシデント報告の確認と再発防止策の評価、③規定や関連文書の見直し、④職員への個人情報保護の啓蒙、等を行っている。

平成28年度の個人情報保護関連のインシデントアクシデント総数は13件。ほとんどの事案で「照合確認不足」が原因となっており、システム的な問題というよりは、ヒューマンエラーが主な原因となっている。各職員が個人情報について日々いかに深く意識できるかが課題であり、今後ともその重要性について発信し続けていきたいと思う。

4月	・ 定例会
5月	
6月	・ 定例会 ・ 個人情報保護規定改訂案作成
7月	・ 医療監視
8月	・ 定例会 ・ 個人情報保護規定改訂
9月	・ 医療安全研修会発表「病院における個人情報保護と活動報告」
10月	・ 定例会
11月	
12月	・ 定例会
1月	
2月	・ 定例会 ・ 各部署個人情報運用状況チェックリスト配布

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(診療録管理部会)

(原田 幸恵)

(総評)

..... 定例会の実施、年2回の「適切なコーディングに関することについて」を部会にて実施した。診療情報保管庫で保管管理をしていたX線フィルムの廃棄を行った。入院指示簿の書式変更に取り組み、より見やすく安全な指示の実施について検討を行った。診療情報の開示について職員を対象に研修会を実施した。
.....

4月	
5月	定例会 適切なコーディングに関することについて
6月	診療情報保管庫<X-Pフィルム廃棄>
7月	定例会
8月	
9月	定例会
10月	
11月	定例会 適切なコーディングに関することについて
12月	
1月	定例会
2月	入院指示簿の書式変更
3月	定例会 診療情報の開示についての職員研修

H28 年度 褥創対策委員会反省

H28 年度の目標は

- ①個々の除圧マットの使用状況の把握を行ないスムーズな運用ができる。
- ②積極的なカンファレンス、また勉強会への参加により知識・技術の習得・向上、スタッフへの指導ができ、統一したケアが行える。

上記 2 つをあげていました。

前年度も常時 70～80%は褥創リスク者でありそのうちの 5～6 名程度は有病患者でした。急性期病院での治療を終え、当院転院後も引き続き高機能マットの使用を希望されるケースや、患者の高齢化、ターミナル期の患者の増加など高度リスク管理を要する状況となり、昨年は高機能マットを 2 台新規購入して頂きました。高機能マットは現在 7 台、汎用エアーマットレスは 4 台で稼働中ですが、使用患者の特定に時間がかかることがあり、救急での入院に必要な場合すぐに対応できないことが課題となっていました。そのため、いつ、誰に使用したのかを明確にし持ち出しをした者、返却をした者のサインをするよう手順の変更をしました。そうすることで、定期的な評価や故障などのトラブルがあった場合の追跡も以前よりしやすくなったと思います。

これについては運用上の課題も評価しつつ検討を重ねていきたいと思っています。また病棟内カンファレンスでは各チームでリスク者についての体位変換方法や栄養状態、有病者についての経過報告など行い情報の共有を行いました。創をみて判断する、ということが難しく、薬剤の使用の選択や観察項目、評価がなかなか統一したものとならず、患者の体格、褥創を有する患者の高機能マット使用時の圧力の設定や動作の切り替えなど個人レベルで差がでるものとなっている現状がありました。高機能マットの取り扱いについては、説明書きを部署内に置く（またはポンプに設置する）などの検討が必要と思われます。

委員会では各施設のリスク者、有病者の報告を行い難治症例などカンファレンスをおこなったが、施設によっては使用出来る薬剤も限られており、予防の段階で観察の強化の必要性を感じました

H29 年度 目標

- ① 褥瘡や栄養関連の勉強会に積極的に参加し、他部署やスタッフとの情報共有をする。
- ② 褥瘡予防の強化に努め、除圧用具の適切な選択ができる。

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(業務改善委員会)

(岡崎 優美子)

(総評)

委員会の担当業務が多岐に渡るなか、担当者を決めることで各々が責任を持って担当業務を行っていた。委員会だけでは解決できない事案であっても、改善に向けて意見が挙がり、皆が気付きの目をもって委員会メンバーとしての役割を担ってくれた。

しかし、アンケートや意見箱の回答がリアルタイムに掲示出来ておらず、せつかくの患者様やご家族様からの意見に対し、改善が乏しいことが今後の課題となっている。

4月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦2回実施・2階病棟アンケート回収、集計、前年度下半期まとめ・意見箱投書1枚・岡電バス時刻表更新
5月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦4回実施・2階病棟アンケート回収、集計・両備バス時刻表更新
6月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦4回実施・2階病棟アンケート回収、集計・意見箱投書1枚・投書箱リニューアル（木製から金属製へ）
7月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦4回実施・2階病棟アンケート回収、集計・意見箱投書5枚→ドック男性更衣室に折り畳み椅子設置
8月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦4回実施・2階病棟アンケート回収、集計
9月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦4回実施・2階病棟アンケート回収、集計・3階病棟アンケート実施、集計・意見箱投書2枚→身障者用トイレに荷物置き設置（11月）・医療安全研修会MC
10月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦4回実施・2階病棟アンケート回収、集計、上半期まとめ・意見箱投書2枚・外来トイレ前のポスター追加掲示1枚・外来待ち時間調査実施、集計
11月	<ul style="list-style-type: none">・クリーン作戦3回実施・2階病棟アンケート回収、集計

	<ul style="list-style-type: none"> ・意見箱投書 1 枚 ・落ち葉清掃開始
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 3 回実施 ・2 階病棟アンケート回収、集計 ・意見箱投書 1 枚 ・外来トイレ前のポスター追加掲示 1 枚 ・やすらぎバス時刻表（持ち帰り用）廃止
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 4 回実施 ・2 階病棟アンケート回収 ・意見箱投書 3 枚→外来待合いにカレンダー設置
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 4 回実施 ・2 階病棟アンケート回収、集計 ・外来アンケート実施、集計 ・岡電バス時刻表更新 ・雛人形設置
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 4 回実施 ・2 階病棟アンケート回収、集計 ・3 階病棟アンケート実施、集計 ・マニュアル更新

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(福祉委員会)

記入者

(藤井 英次)

(総評)

昨年度からの継続でサークル（ヨガ、テニス）活動を行いました。年間計画としては、見直しを行い、一泊二日の旅行は行わず、日帰り旅行のみ計画。少しでも多くの方に参加してもらうために企画数を例年より1.5倍に増やしました。企画の参加費等により参加率に差がでましたが、次年度は、予算化などを提案し、参加しやすく思い出に残るような企画をさらに提案していきたいと考えています。

4月	通常委員会
5月	通常委員会
6月	通常委員会 新人歓迎 BBQ 大会
7月	通常委員会 ファジアーノ観戦
8月	通常委員会 ラフティング
9月	通常委員会大山森の国（人数揃わず中止）
10月	通常委員会 須磨水族館+ステーキランド神戸旅行神戸旅行 ソフトバレーボール大会
11月	通常委員会
12月	通常委員会 忘年会
1月	通常委員会
2月	猫山スキー・スノーボード（人数揃わず中止）
3月	通常委員会

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(労働者安全衛生委員会)

(岩戸 忍)

(総評)

今年度も年度計画に沿って、意見箱・更衣室管理など職場労働環境に係る改善に取り組みました。

また、医療安全研修会MCも全ての委員にて分担し実施。

来年度は、より労働環境改善に向けた取組みを実施したい。

4月	通常委員会
5月	
6月	通常委員会 更衣室のくつ整理 (廃棄)
7月	
8月	通常委員会
9月	
10月	通常委員会
11月	
12月	通常委員会
1月	職員向けの満足度調査を実施
2月	通常委員会 腰痛予防教室開催
3月	医療安全研修会MC

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

記入者

(地域連携・健康教室委員会)

(森原 郁雄)

(総評) ○出張講座 亀塾「聞きたい話」「笑顔で体操」「一緒に楽しむ」を掲げ、南区南福祉事務所管内を中心に、地域サロンや町内会に出向いて健康増進に繋がる講座、タオル体操を実施。定期依頼や包括支援センターからの紹介、口コミにて依頼件数は増加し、本年度は11件の依頼を頂き活動中。

○いきいき健康教室 8月～3月まで第2木曜日に開催。年間8回。地域から参加者を募り、健康増進に繋がる講座やボールを使った体操を実施。本年度は25名の参加申し込みを頂き、活動中。

○病院の日・看護の日 5月の看護週間に合わせて、地域の人を招待して、午前は無料健康診断、午後は講演会を行うイベント。本年度は「つながり～広げよう人の輪～」をテーマに5/12に開催。午前53名、午後31名の皆様に参加いただいている。

○集団栄養指導 全国糖尿病週間に合わせて、糖尿病予防に関する情報を発信。例年は糖尿病患者様を招待し、管理栄養士からの栄養指導を行ってきた。本年度は病院玄関前にブースを作り、市販のジュース内の糖分量や市販食品の油分量をわかりやすく展示して、外来患者様に拝見していただいた。

○院内掲示 6月、12月の年2回、健康増進につながる情報を病院内や関連部署など計12か所にポスター掲示。本年度は「水分の摂り方」「冷え症」を掲示している。

..... 4月	定期委員会
5月	定期委員会、5/10「病院の日看護の日」(AM53名、PM31名) 亀塾(5/12築港元町11名、5/26平福ふれあいサロン22名)
6月	定期委員会、 亀塾(6/3浦安めだかサロン15名、6/4緑会37名)
7月	定期委員会、 院内掲示(水分補給について12箇所掲示)
8月	定期委員会、 いきいき健康教室(ロコモチェック21名)
9月	定期委員会 亀塾(9/1いちごサロン27名、9/9どんぐりサロン13名) いきいき健康教室(腸内環境クリニック24名)、秋祭り

<p>10月</p>	<p>定期委員会 亀塾（10/5 えがおサロン 21名、10/25 ポコアポコ 13名） いきいき健康教室（腸内環境食・運動 20名）</p>
<p>11月</p>	<p>定期委員会、亀塾（11/2 ひばりサロン 25名）、糖尿病週間掲示 いきいき健康教室（ニュースポーツ 22名）</p>
<p>12月</p>	<p>定期委員会、院内掲示（冷え性について 12箇所掲示） いきいき健康教室（知って得する薬の話 16名）</p>
<p>1月</p>	<p>定期委員会 いきいき健康教室（口腔内細菌 24名）</p>
<p>2月</p>	<p>定期委員会、亀塾（2/7 新保北いきいき広場 22名） いきいき健康教室（調理実習 21名）</p>
<p>3月</p>	<p>定期委員会、亀塾（3/28 小串いきいきサロン？名） いきいき健康教室（？名）</p>

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(広報委員会)

記入者

(名越 大悟)

(総評)

各委員それぞれが、当院と地域の皆さまを繋げる為の広報活動を意識し、役割を担って積極的に取材や情報収集、他院の広報活動についての情報共有がなされている。今後の課題として、当院と地域の皆さまとの繋がりを広報するのは勿論、それに加えて当院が担っている役割について、より専門的な情報の発信、数字の開示等を行っていく必要がある。1人でも多くの方に、当院の事がより深く伝わる広報活動を実践していく。

4月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ63号(5月発行)』の取材・編集・ 5月実施『病院の日・看護の日』準備
5月	<ul style="list-style-type: none">・ 5月10日『病院の日・看護の日』実施・ 広報誌『そよかぜ63号』発行
6月	<ul style="list-style-type: none">・ 6月18日(土) フラワーアレンジメント教室実施・ 広報誌『そよかぜ64号(8月発行)』の内容検討
7月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ64号(8月発行)』の取材・編集・ 病院秋祭り準備委員会組閣(9月実施)
8月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ64号』発行・ 9月24日(土) 病院秋祭り準備
9月	<ul style="list-style-type: none">・ 9月24日(土) 病院秋祭り実施・ 広報誌『そよかぜ65号(11月発行)』の内容検討
10月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ65号(11月発行)』の取材・編集
11月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ65号』発行
12月	<ul style="list-style-type: none">・ 12月10日(土) フラワーアレンジメント教室実施・ 広報誌『そよかぜ66号(2月発行)』の内容検討
1月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ66号(2月発行)』の取材・編集
2月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ66号』発行
3月	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌『そよかぜ67号(5月発行)』の内容検討・

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(IT 委員会)

記入者

(山田 洋和)

(総評)

◎院内職員にパソコンを活用してもらえるよう「パソコン豆知識」の作成・掲載を継続し、特に今年度は新人職員向けにイントラの使用方法についても掲載しました。イントラの利用率をあげるべく、今年度からグループのイベントを掲載しており、効果をまだ出ておりませんが、来年度も継続していく予定です。 ◎ホームページの内容の更新・修正については継続してできており、来年度も円滑に更新・修正ができるよう更新マニュアルを見直し、修正しました。 ◎院内行事(「病院の日・看護の日」、「秋祭り」)については委員会として準備段階から参加することができました。 ◎パソコン清掃については各部署の協力を得て、数台ずつですが実施でき、来年度も継続していく予定です。

4月	◎年度計画 パソコン豆知識・献立表イントラ掲示の担当振り分け 病院パンフレット修正 パソコン清掃のスケジュール 「病院の日・看護の日」の準備担当振り分け 「医療安全委員会」MCの担当振り分け ◎献立表をイントラに掲示 ◎パソコン豆知識内容検討
5月	◎パソコン豆知識(「イントラの使用方法について(掲示板等)」)・献立表・やすらぎ広報誌をイントラに掲示 ◎「病院の日・看護の日」の看板作成、前日準備、当日(5/10)参加 ◎パソコン清掃(居宅事業所4台)
6月	◎献立表をイントラに掲示 ◎パソコン豆知識内容検討 ◎病院パンフレット修正 ◎「医療安全研修会」MC準備 ◎「秋祭り」準備計画
7月	◎パソコン豆知識(「イントラの使用方法について(設備予約)」)・献立表をイントラに掲示 ◎ホームページ(けやき情報)更新 ◎「医療安全研修会」MC(7/22)
8月	◎献立表をイントラに掲示 ◎パソコン豆知識内容検討 ◎病院パンフレット修正 ◎「医療安全研修会」アンケート集計等 ◎パソコン清掃(居宅事業所2台)

<p style="text-align: center;">9月</p>	<p>◎パソコン豆知識(「Excel でのグラフの作り方」)・献立表をイントラに掲示</p> <p>◎「秋祭り」準備(氷・演題)</p>
<p style="text-align: center;">10月</p>	<p>◎献立表をイントラに掲示</p> <p>◎パソコン豆知識内容検討</p> <p>◎病院パンフレット用素材写真収集</p> <p>◎ホームページ(健診情報・うららか広報誌)更新</p> <p>◎パソコン清掃(居宅事業所 3 台)</p>
<p style="text-align: center;">11月</p>	<p>◎パソコン豆知識(「Word の段組みについて」)・献立表をイントラに掲示</p> <p>◎パソコン清掃(薬局 4 台)</p>
<p style="text-align: center;">12月</p>	<p>◎献立表・佐藤病院グループイベント(ソフトバレーボール大会)報告をイントラに掲示</p> <p>◎パソコン豆知識内容検討</p> <p>◎ホームページ(病院広報誌)更新</p>
<p style="text-align: center;">1月</p>	<p>◎パソコン豆知識(「Excel の入力規則(リストボックスの作成)について」)・献立表・佐藤病院グループイベント(忘年会)報告をイントラに掲示</p> <p>◎ホームページ(病院広報誌)更新</p> <p>◎パソコン清掃(リハビリ ST 室 2 台)</p>
<p style="text-align: center;">2月</p>	<p>◎献立表をイントラに掲示</p> <p>◎パソコン豆知識内容検討</p> <p>◎ホームページ(病院概要・理念・基本方針)更新</p> <p>◎ホームページ更新マニュアルの見直し・修正</p> <p>◎パソコン清掃(リハビリ PT 室 2 台)</p>
<p style="text-align: center;">3月</p>	<p>◎パソコン豆知識(「ファイルにパスワードをかける方法について」)・献立表をイントラに掲示</p> <p>◎ホームページ(健診情報・訪問看護ちやいむ情報)更新</p> <p>◎年度の反省</p>

【各部署・委員会の活動報告】

部署・委員会

(教育委員会)

記入者

(武田 貢一)

(総評)

今年度も委員会の活動計画に沿って、新人研修・医療安全研修会・ICT研修会・佐藤グループ研究発表、全体研修を行った。全体研修では外部講師を招き、クレーム対応について学んだ。

また、医療安全研修会・ICT研修会の出席率向上を目指して、欠席者への資料回覧を始めた。アンケートも添付しており研修会に参加できなかった職員の意見も回収できるようにしている。

4月	新人研修
5月	全体研修：平成28年度診療報酬改定と佐藤病院の役割
6月	全体研修：平成28年度診療報酬改定と佐藤病院の役割
7月	平成28年度第1回 医療安全研修会 平成28年度第1回 ICT研修会
8月	
9月	平成28年度第2回 医療安全研修会
10月	
11月	佐藤グループ研究発表 (発表部署：3階病棟・総務・やすらぎ・福吉)
12月	
1月	全体研修：クレーム対応について
2月	
3月	平成28年度第3回 医療安全研修会 平成28年度第2回 ICT研修会 全体研修：患者様の権利と臨床倫理